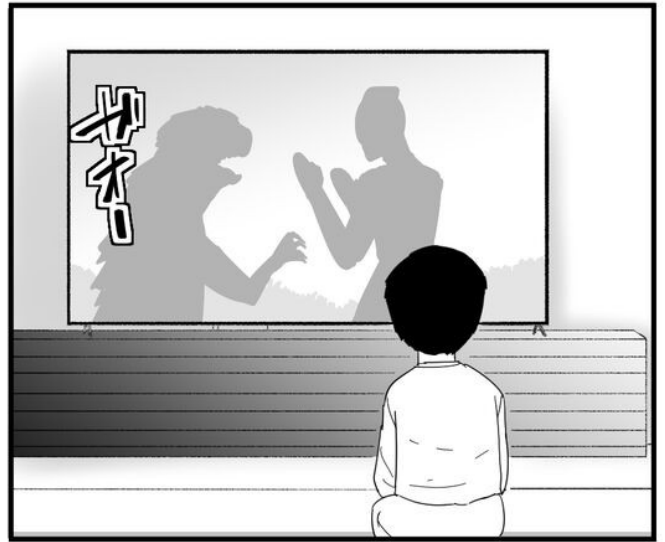
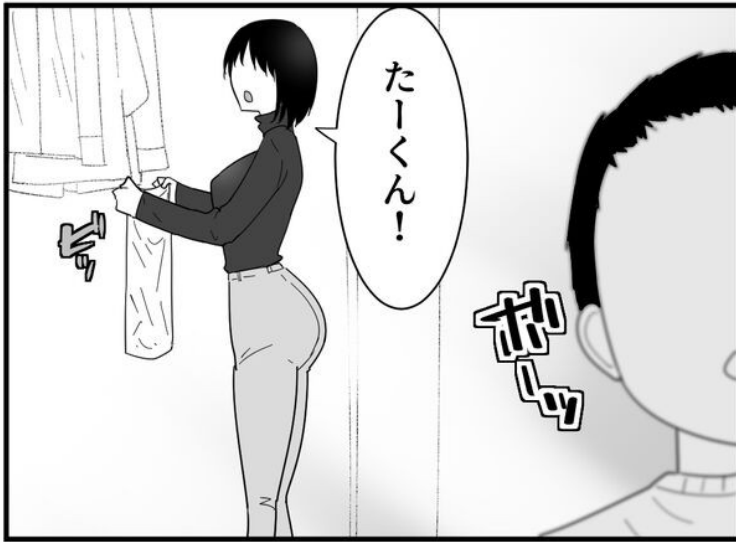




初めての

その後





うん  
ママ今日お仕事  
おやすみな



ママは  
こないの？



フウ



いってらっしゃい

さっしお帰ーす

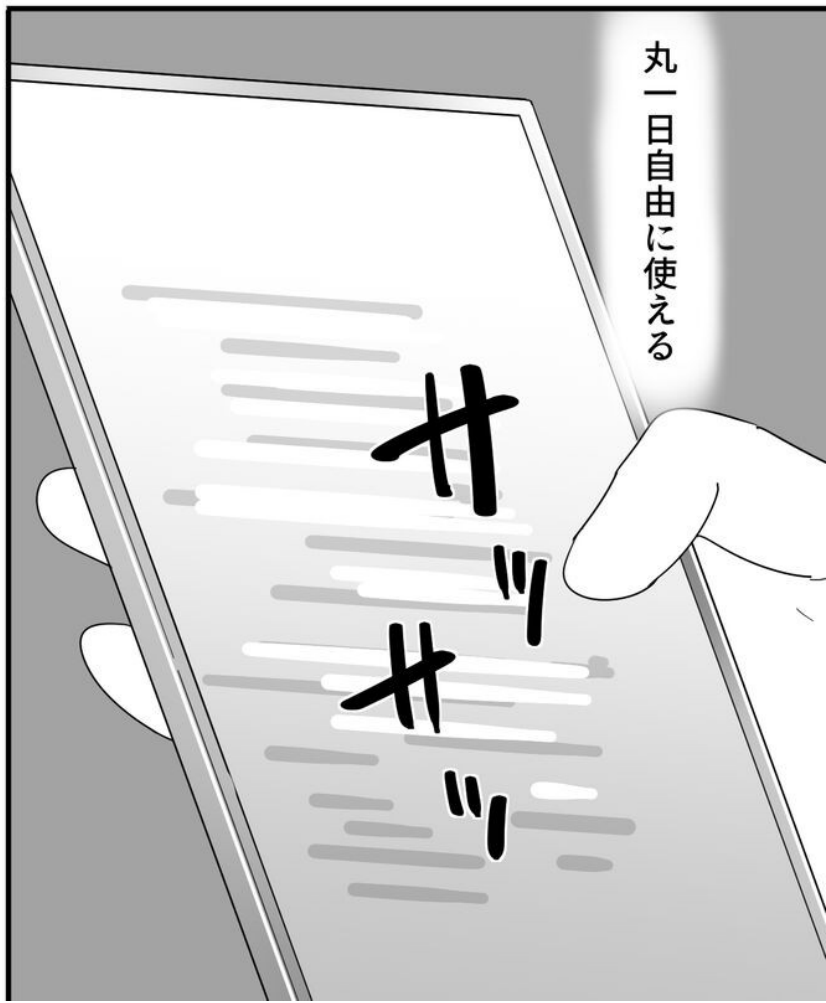
平日：  
家族で私だけが  
仕事は休み



ネットで見つけた  
「あの情報」の真偽を  
確かめるチャンス：



丸一日自由に使える





うわ  
すごいドキドキする…



どうしよう  
正直言うと  
ちよっと後悔してる

もう二度とこんなことしないって  
決めてたのに



私は前に  
犬とセックスしたことがある  
二匹の犬に  
人間である私が  
一晩中身体を弄ばれて…  
沢山の犬の精子を  
体に染み込まされた



すごいショックだった…  
けど  
あの時の  
犬の匂いと快感は  
いつまで経っても  
忘れられず  
『また犬としたい』という  
気持ちが生えていった…



あっ…  
あぁ…

うっ…

あっ!

っばりやめたほうが…

ズボン



「そういうことが出来る犬達と出会えないかとネットを探してたところとあるお店の噂を聞いて試してみることにした



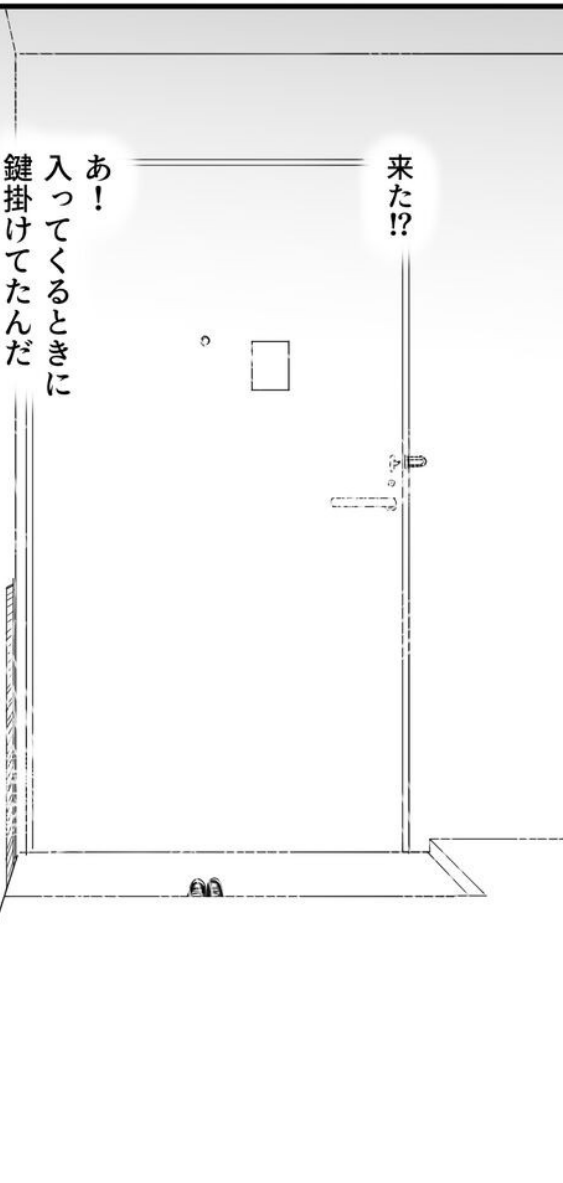
でもまたあの二匹に会いに行こうにも場所が遠くくて一人で会いに行くのは困難…



リ

あ！  
入ってくるときに鍵掛けてたんだ

来た!?



え!?  
女の人…?

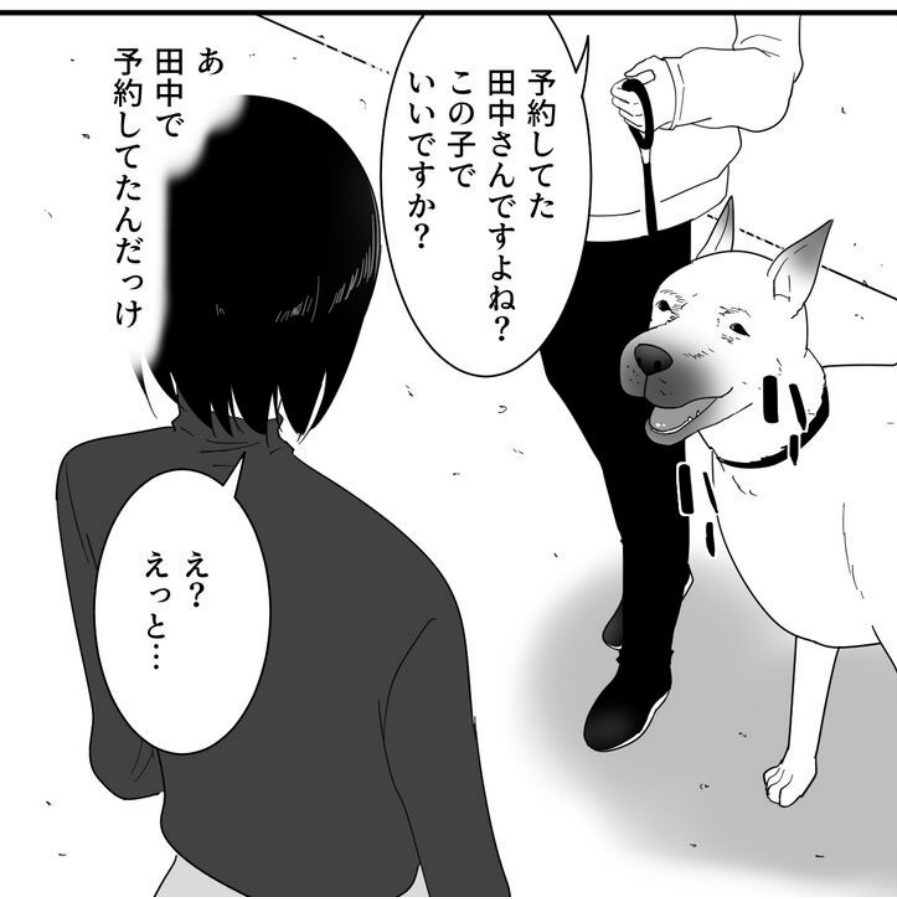


どうもー  
レンタルペットです

あっ

わだ！  
犬だ！

ガキヤ



予約してた  
田中さんですよね？  
この子で  
いいですか？

あ  
田中で  
予約してたんだっけ

え？  
えっと…



お…おっきい犬！

ドキドキ

いいですかって…  
この子が私とエッチして  
くれるってこと…？

ちょっと大きすぎて  
怖いかも…

でも犬は大きい方が  
大人しいって聞くし  
意外といいのかな

それに正直言うと  
大きい体のほうが  
…好き…

この子で  
いいです

わかりました

あとこれ  
マニュアルです

マニュアル…

名前は  
『デン太』って  
言ってる…

デン太…

犬と部屋の  
レンタル料は  
先払いなんで…

パタン

はい

それじゃあ  
時間になったら  
デン太回収しに来るんで

さ…早速  
二人きりに  
なっちゃった…

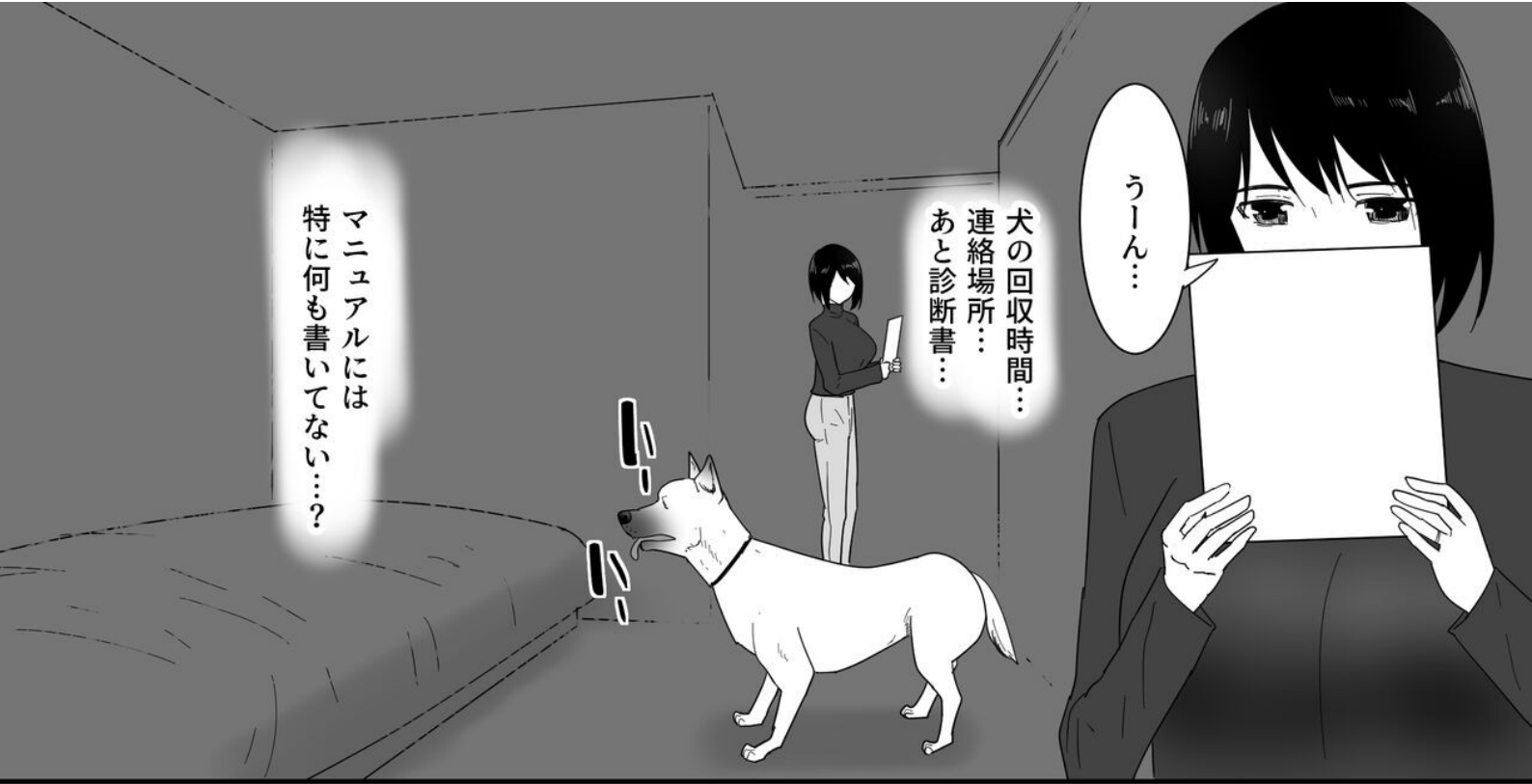
ハッハッハ

トキトキ

私に興味無いのかな？

あれ…？

プイッ





え?  
突然じゃれてきた?

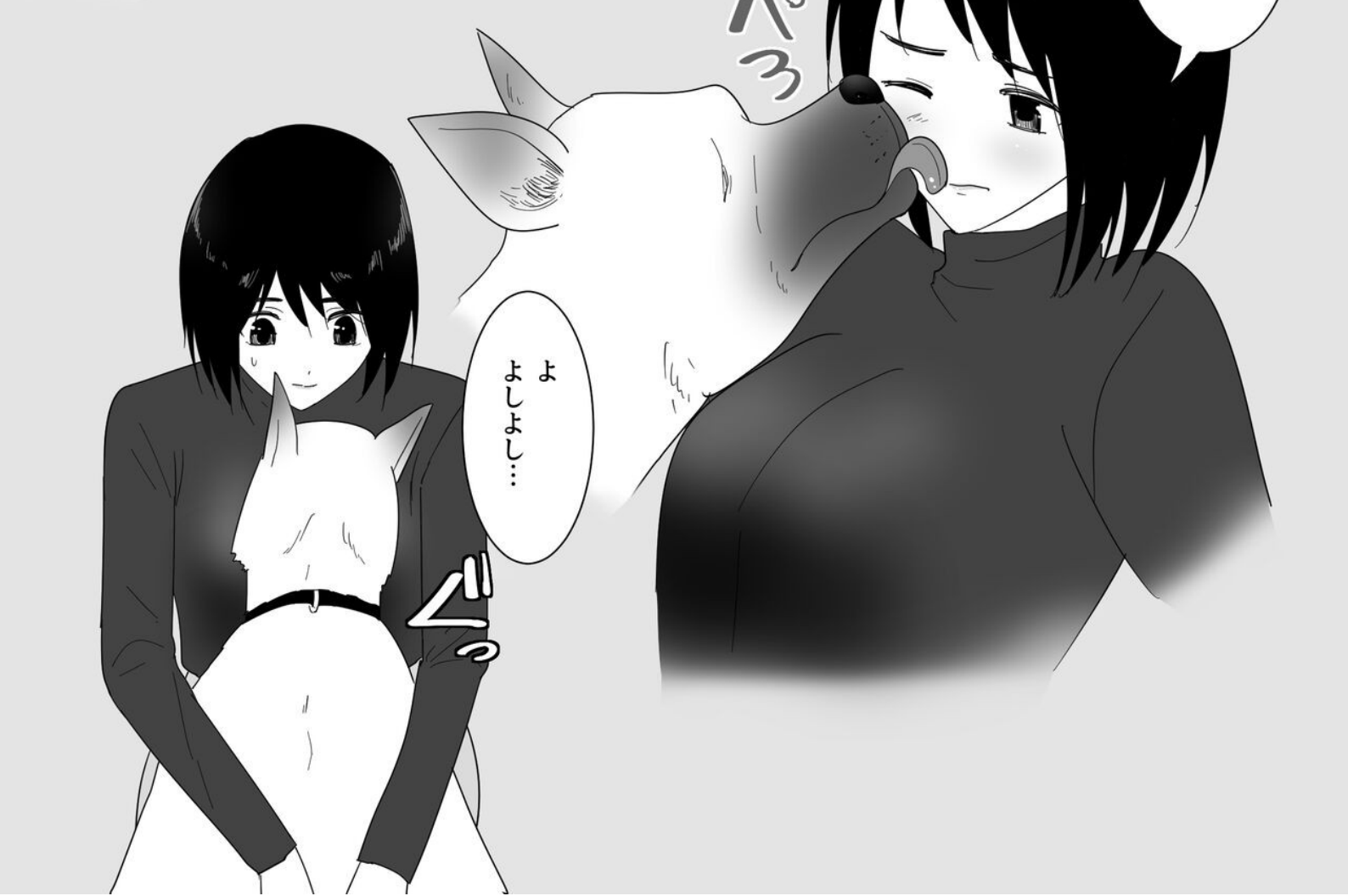
!!?

!!

!!

んっ

へっ



よしよし...

!!



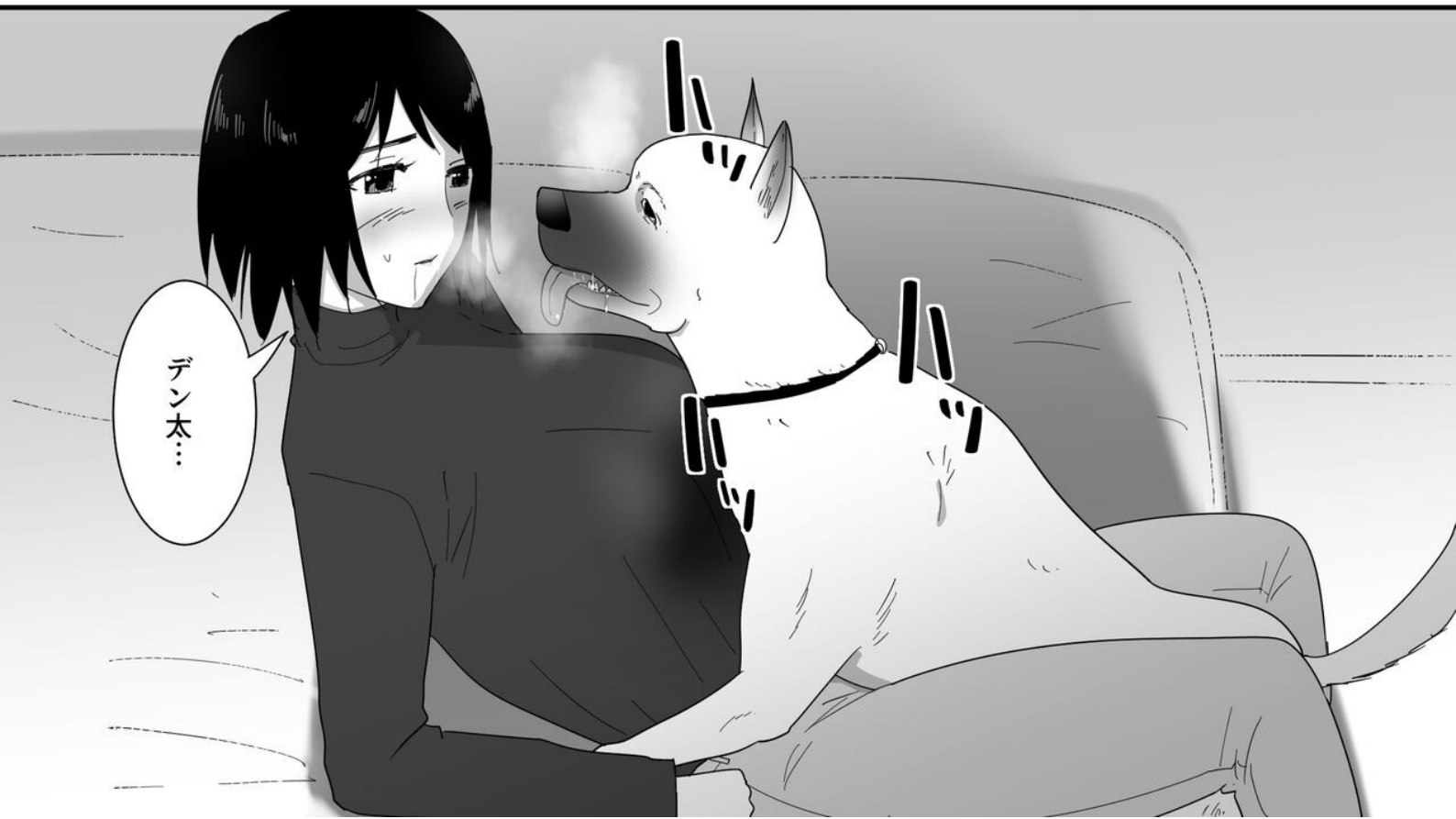


やっぱりこの犬...

ぬめ  
ぬめ

これ...  
もしかして  
キスしてくれてるの??

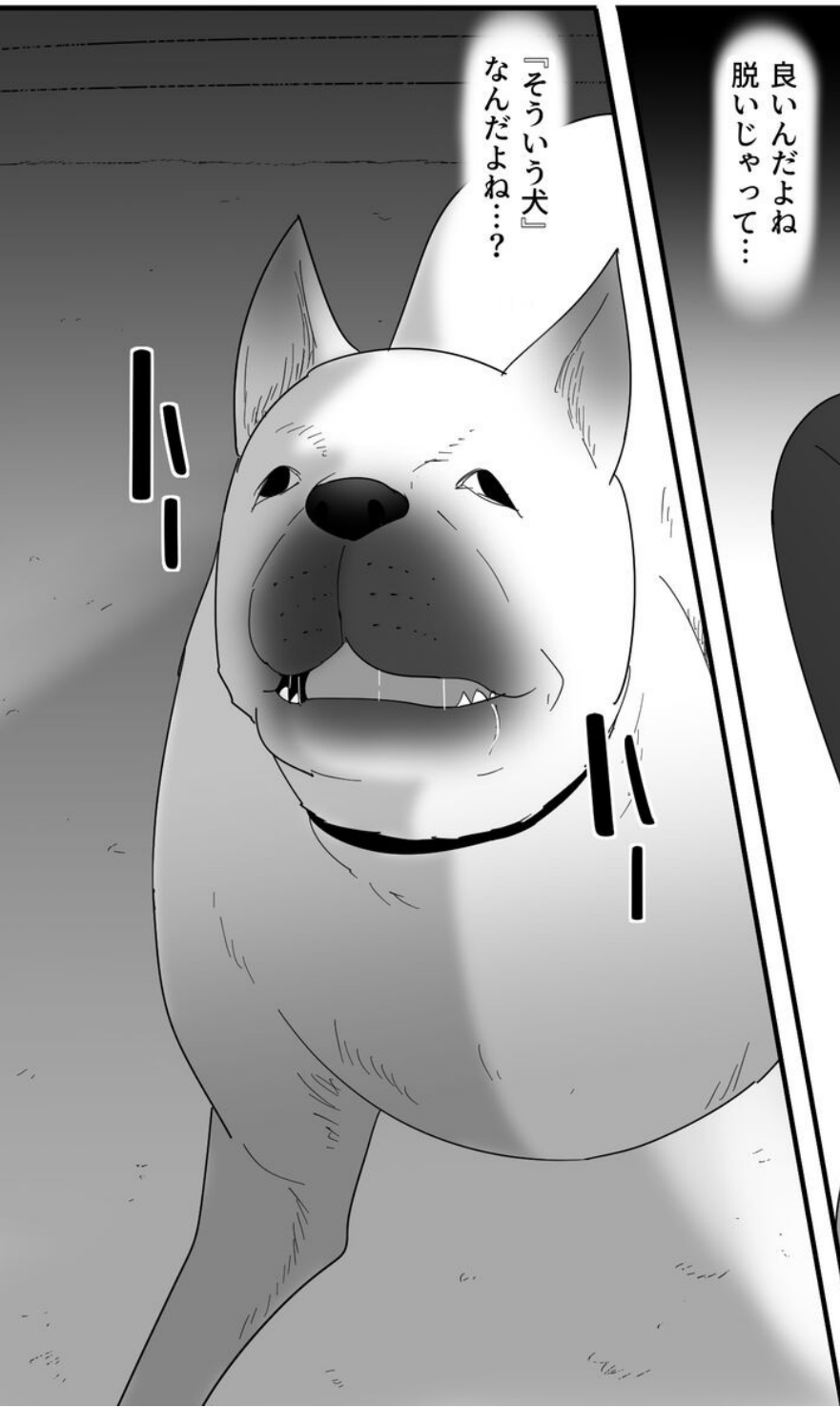
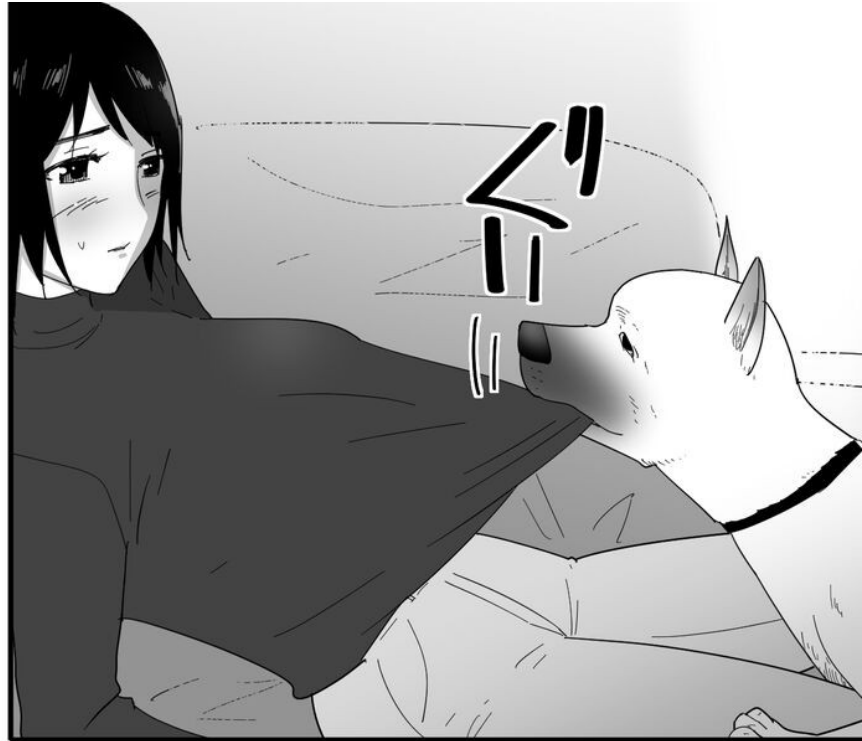
ちやぶ  
ぶ



デン太...



脱げってことか？



『そういう犬』  
なんだよね...？



良いんだよね  
脱いじゃって...



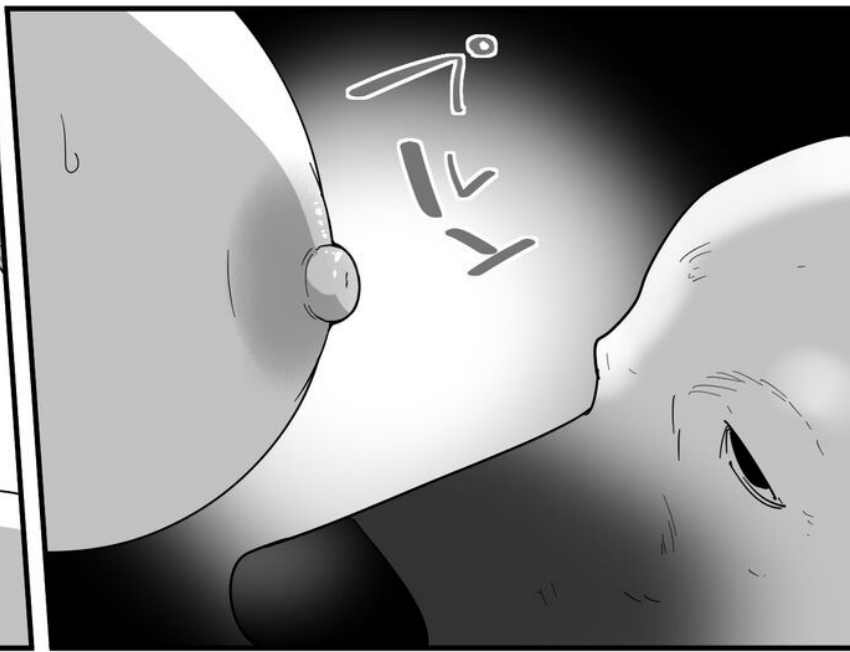
すごい  
凝視してる...

アッ

アッ  
アッ

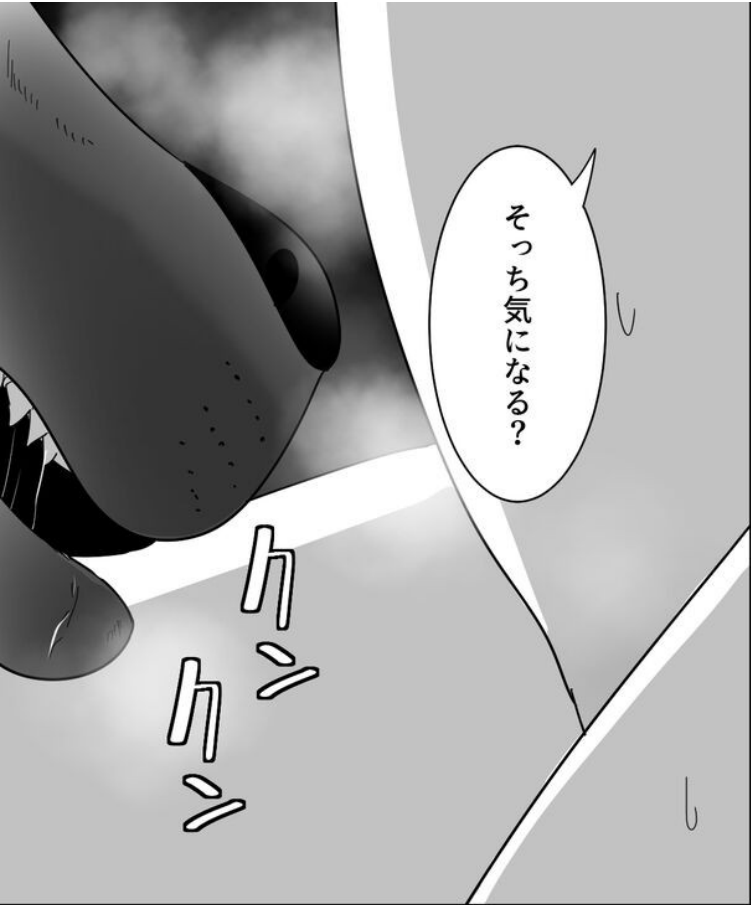
ズン

アッ



犬側が主体だった  
前回とは違って  
罪悪感がある...

なんか  
すごいイケないことしてる感じ...

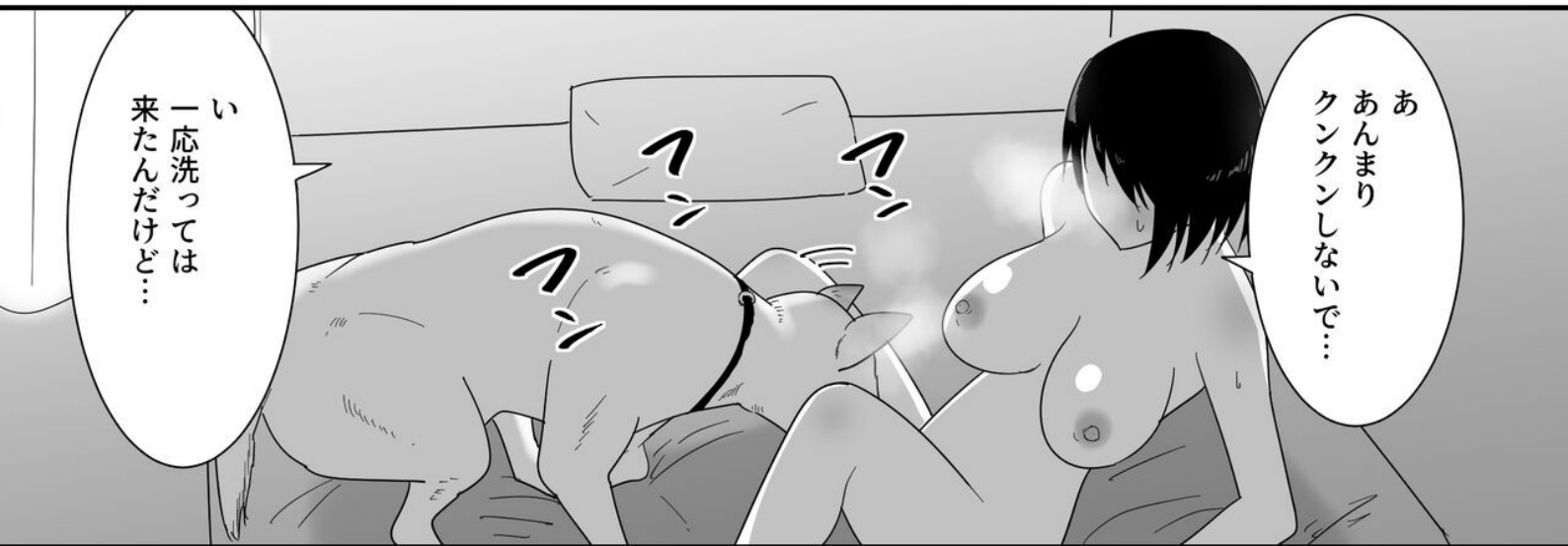


そっち気になる？

ク  
ク



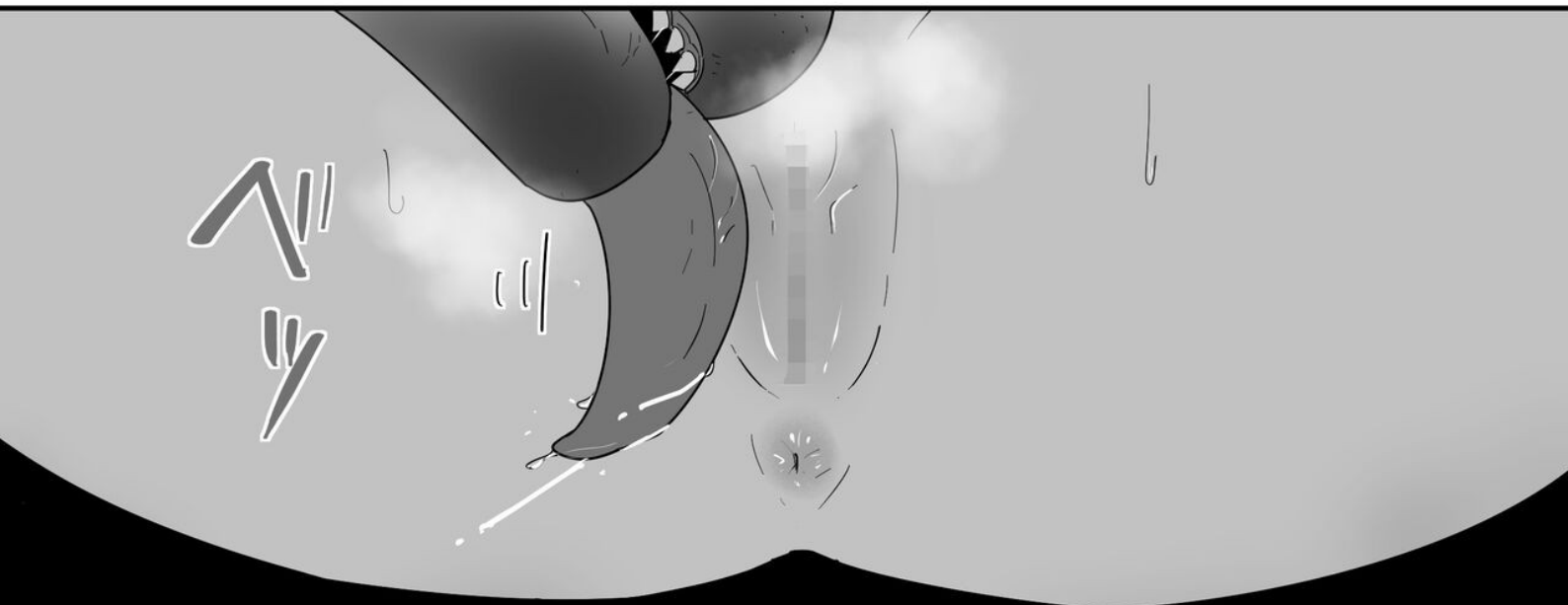
ク  
ク



あ  
あんまり  
クンクンしないで…

い  
一応洗っては  
来たんだけど…

ク  
ク



ク  
ク



ひゃっ!

ちゅぽ



あっ  
あっ  
♡

もっと  
静かに舐めて!

ピ  
チャ

ピ  
チャ

ゼ  
リ  
ゼ  
リ

ゼ  
リ  
チャ



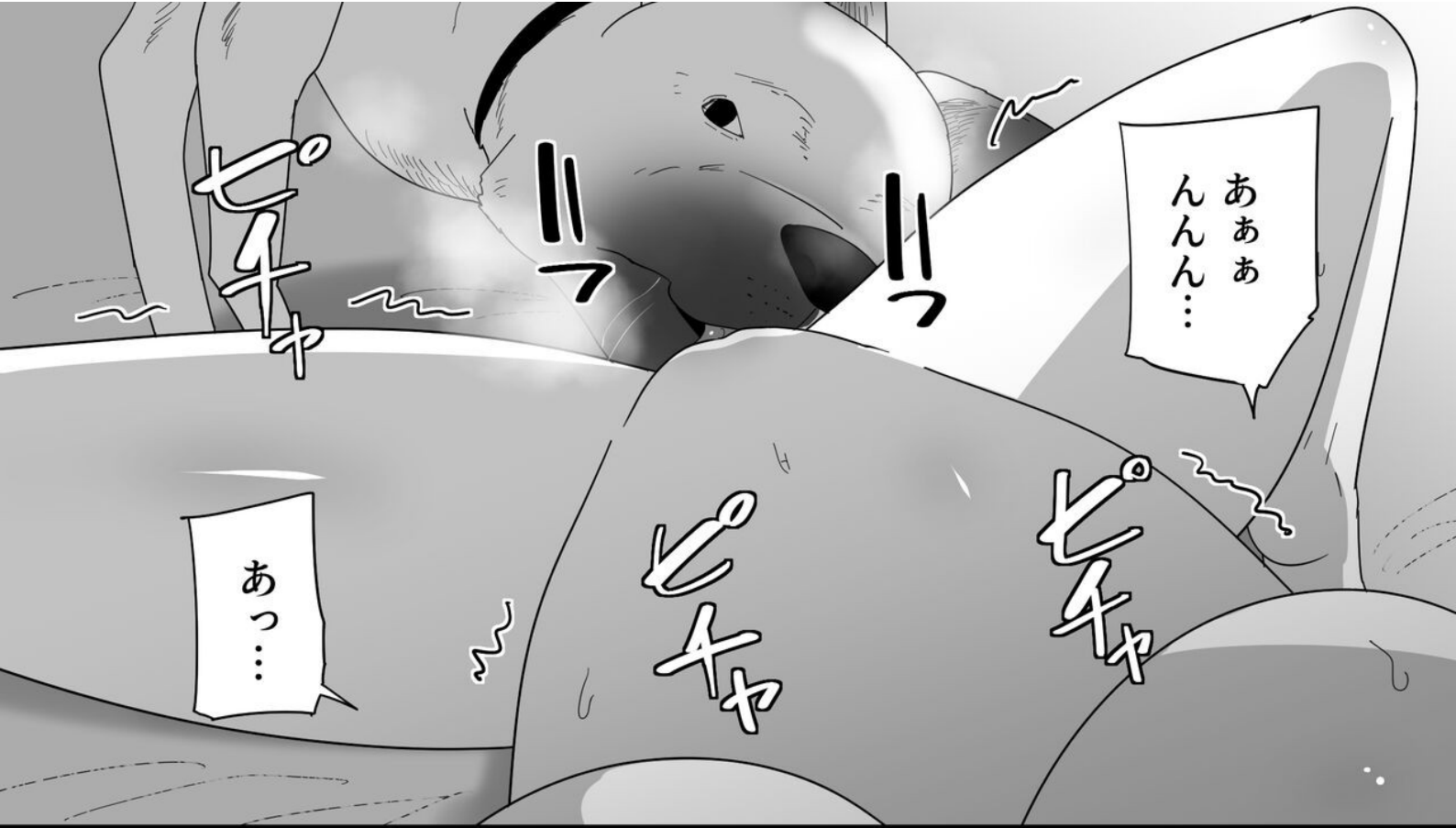
なにこの子

お:『奥』まで  
舌突っ込んで  
舐めてくる...!?

ピ  
チャ

ピ  
チャ

ゼ  
リ  
チャ





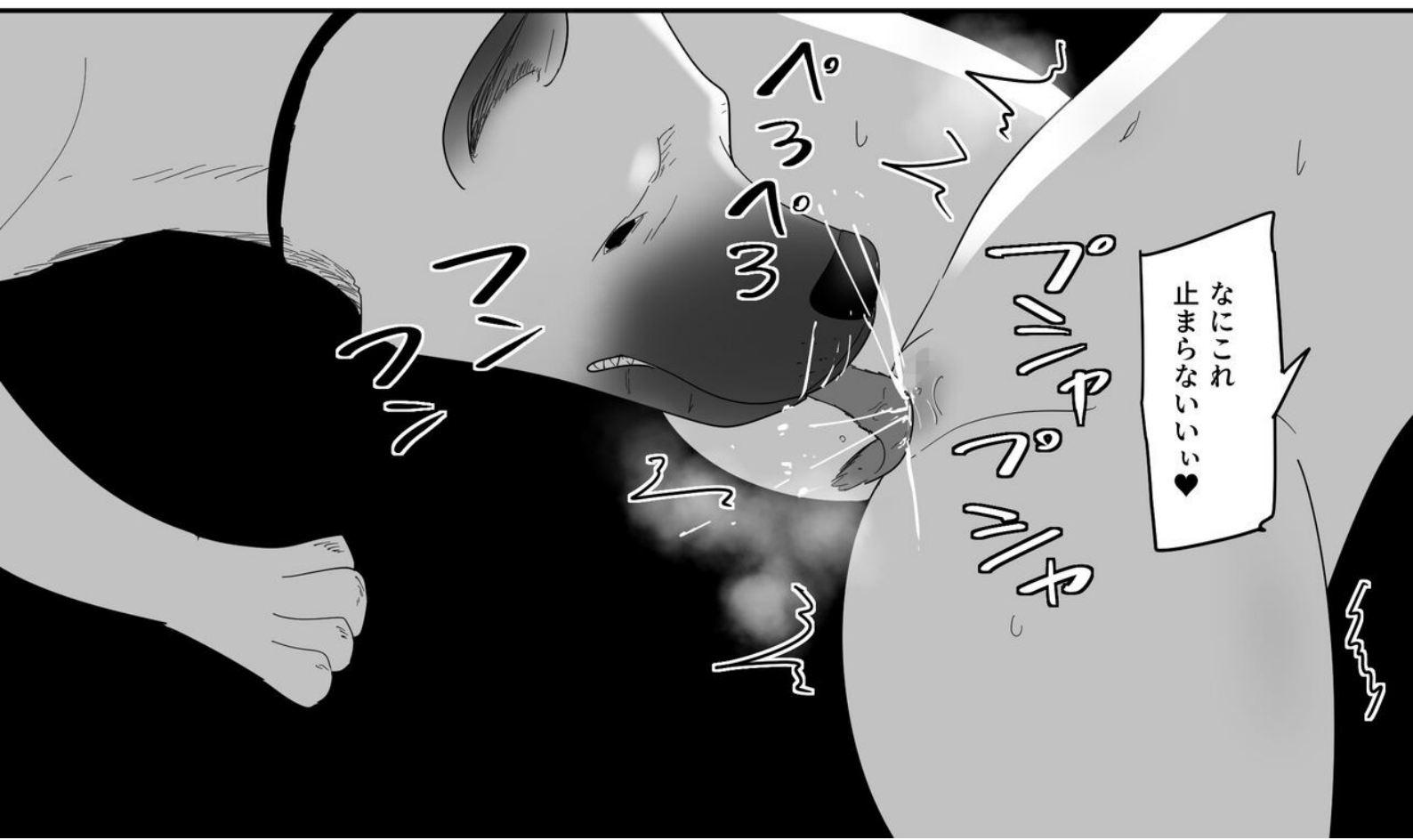
だめえええ♡  
デン太やめて  
やめて

あああああっ♡

ピキ  
ピキ

グワッ

ピキ  
ピキ

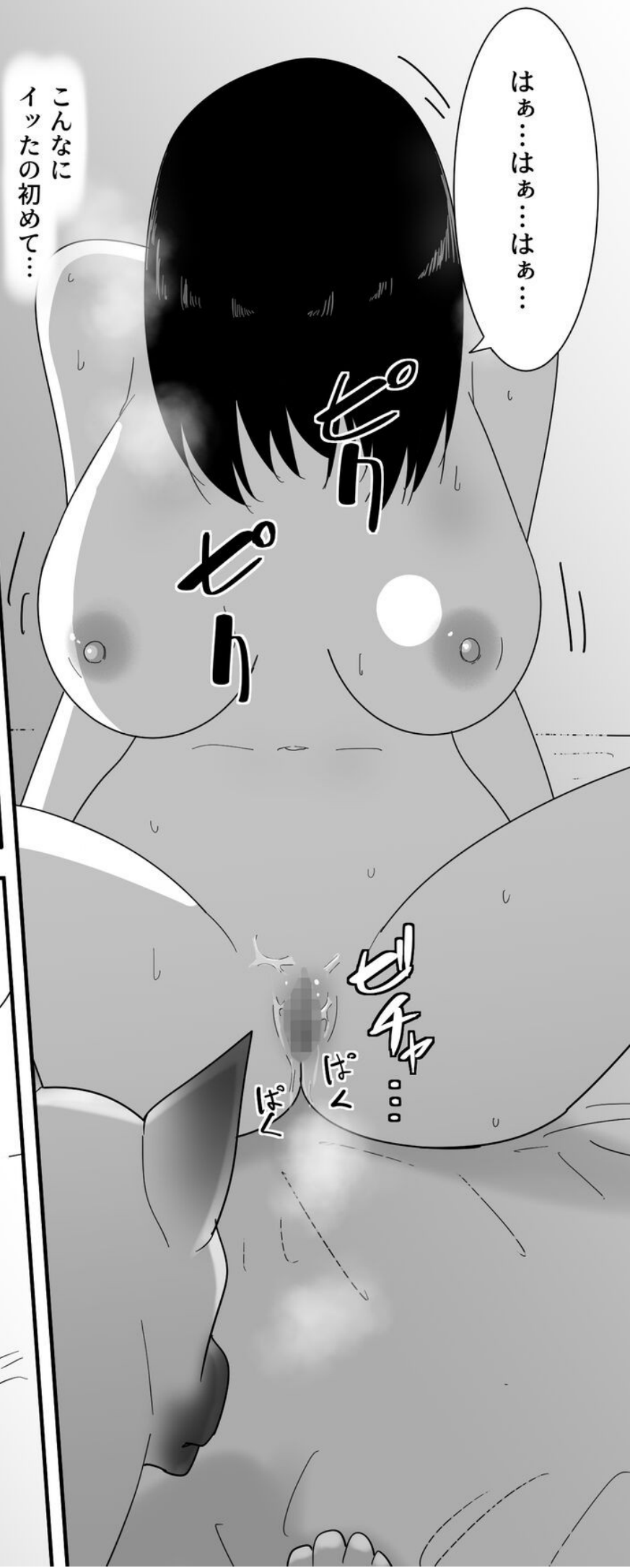


なにこれ  
止まらないいい♡

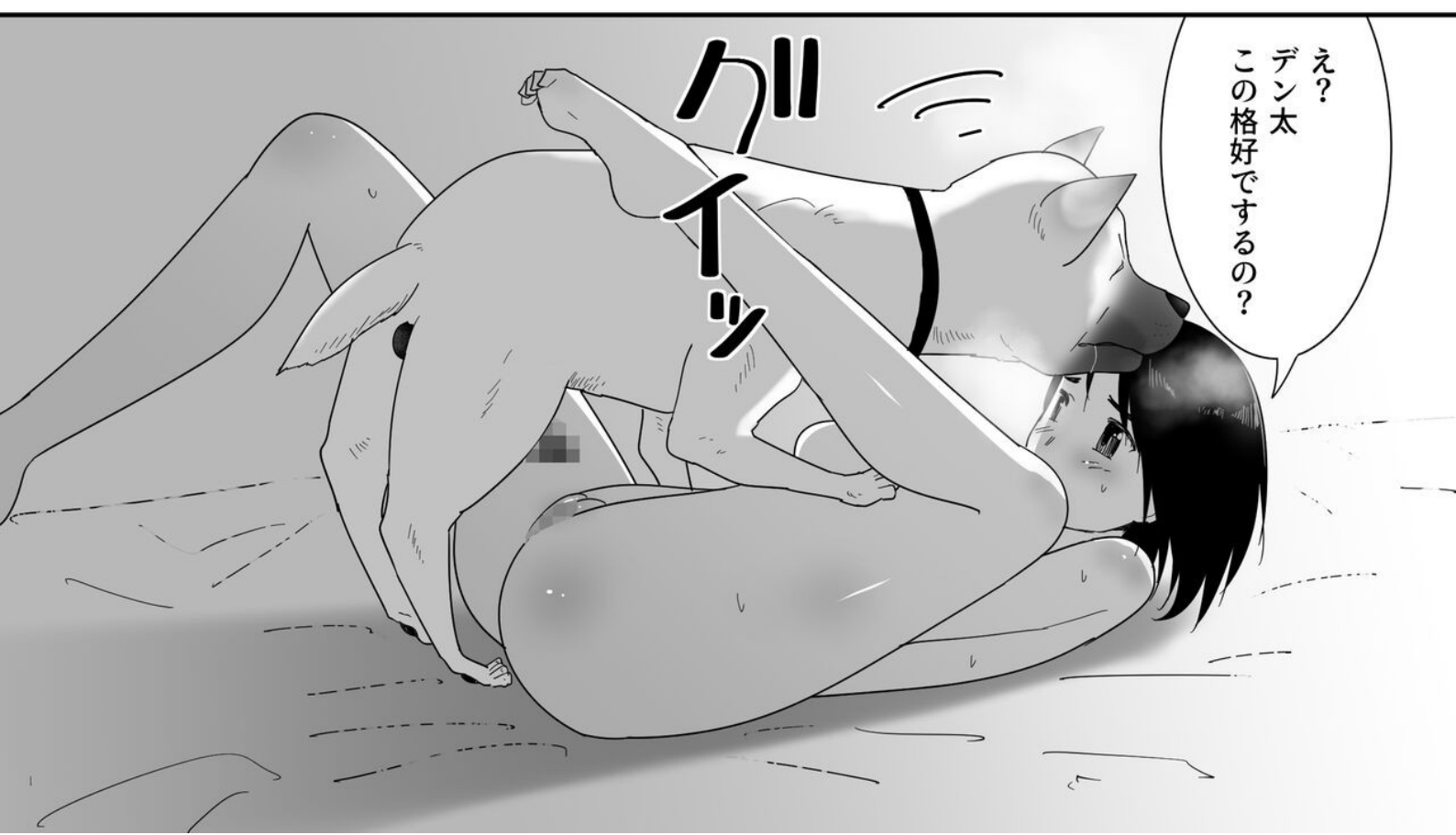
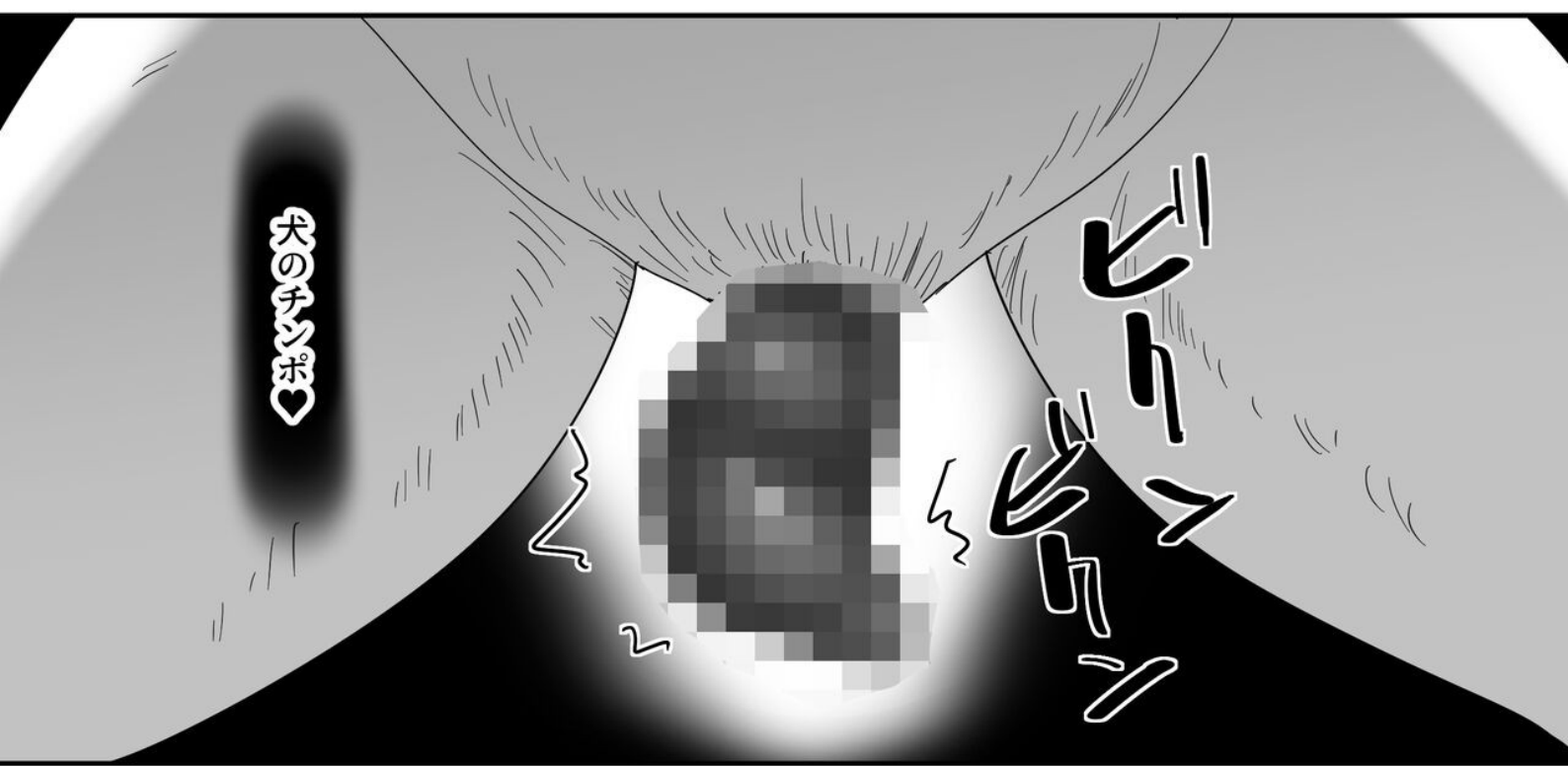
ピキ  
ピキ  
グワッ  
グワッ



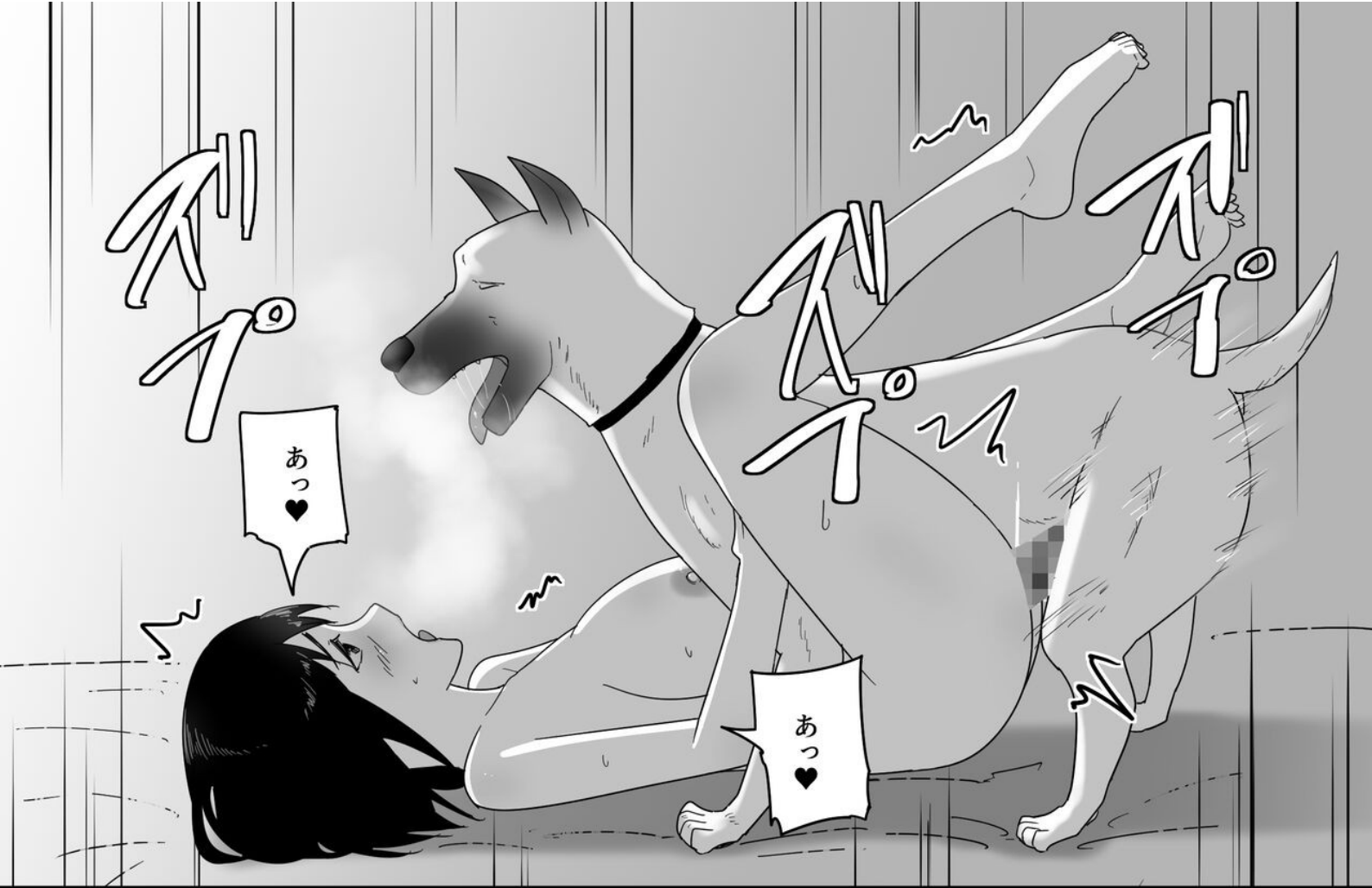
こんなに  
イッたの初めて…

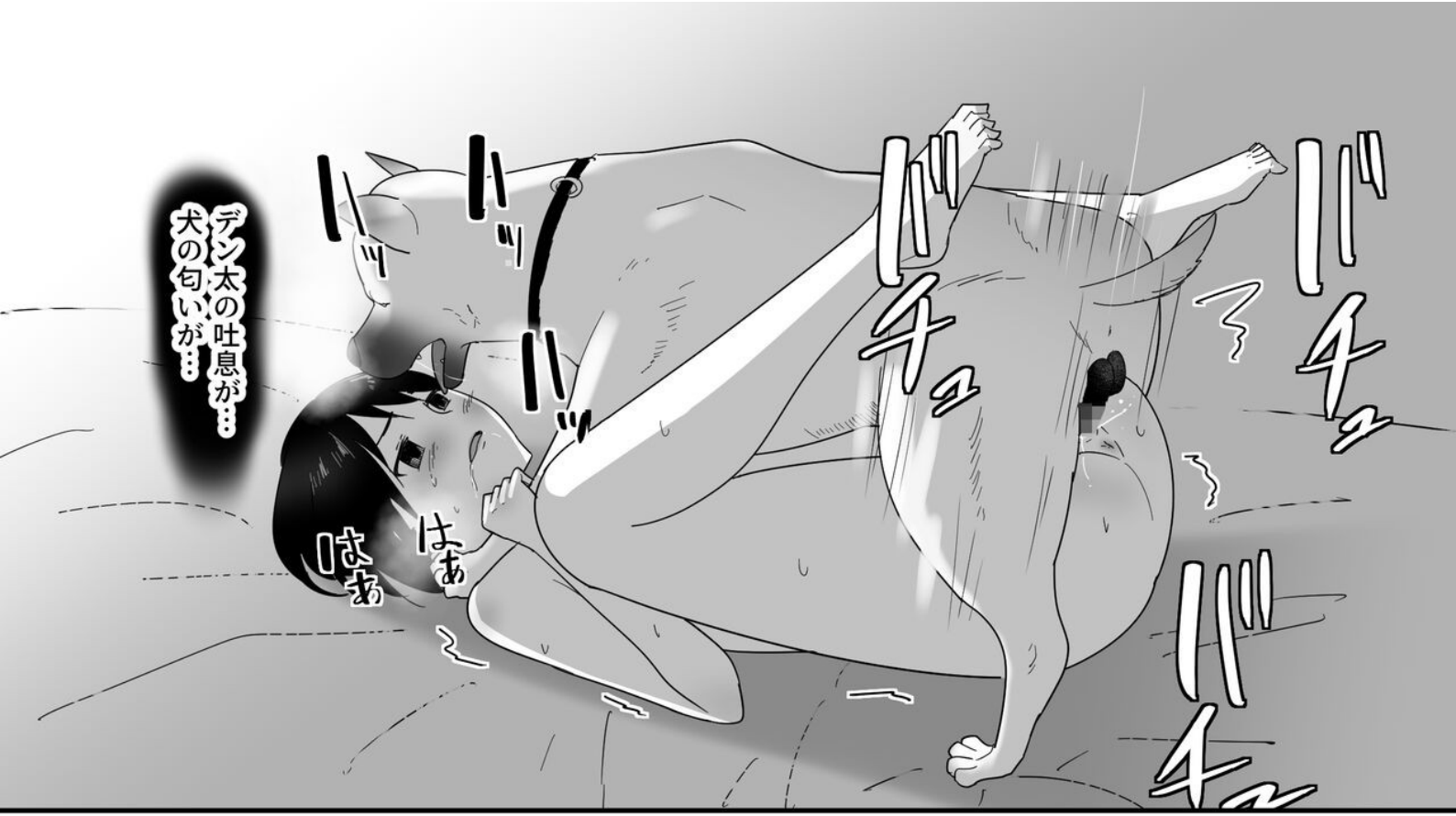


はあ…はあ…はあ…





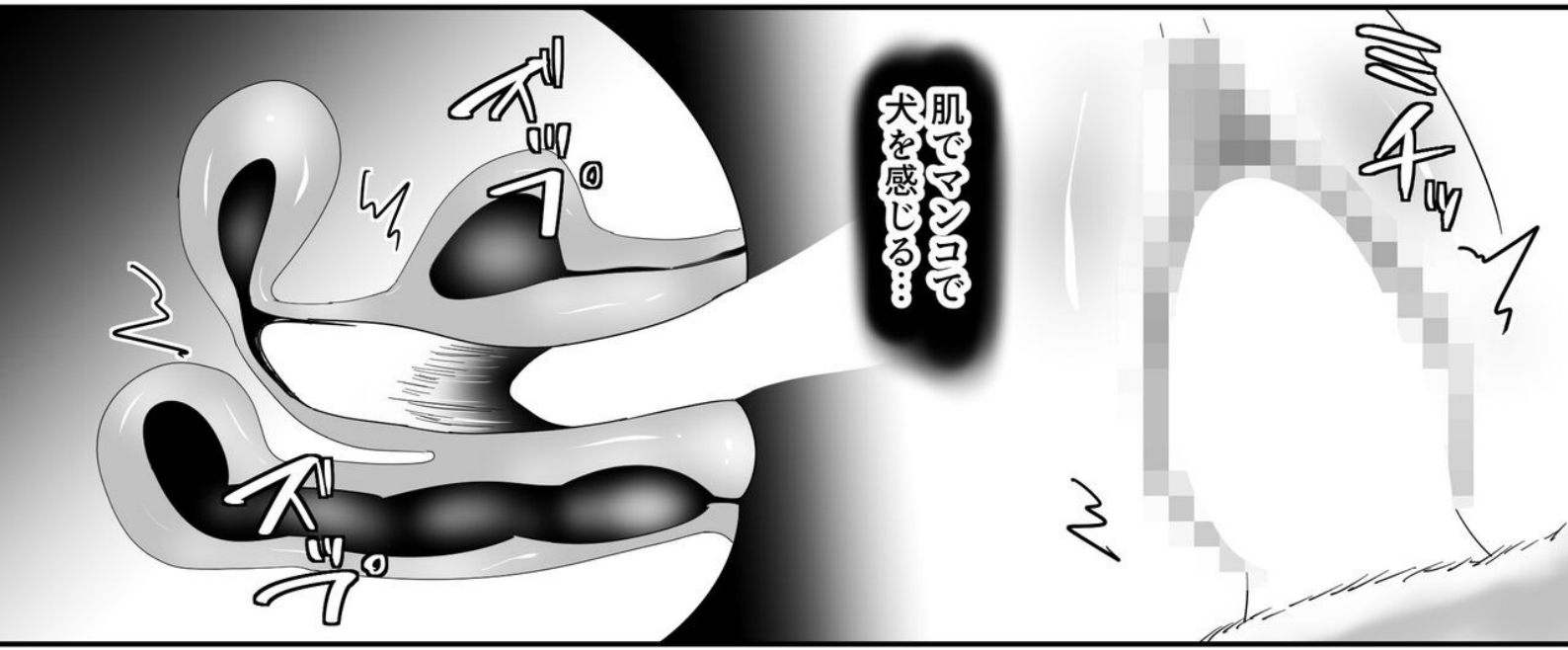




デン太の吐息が...  
犬の匂いが...

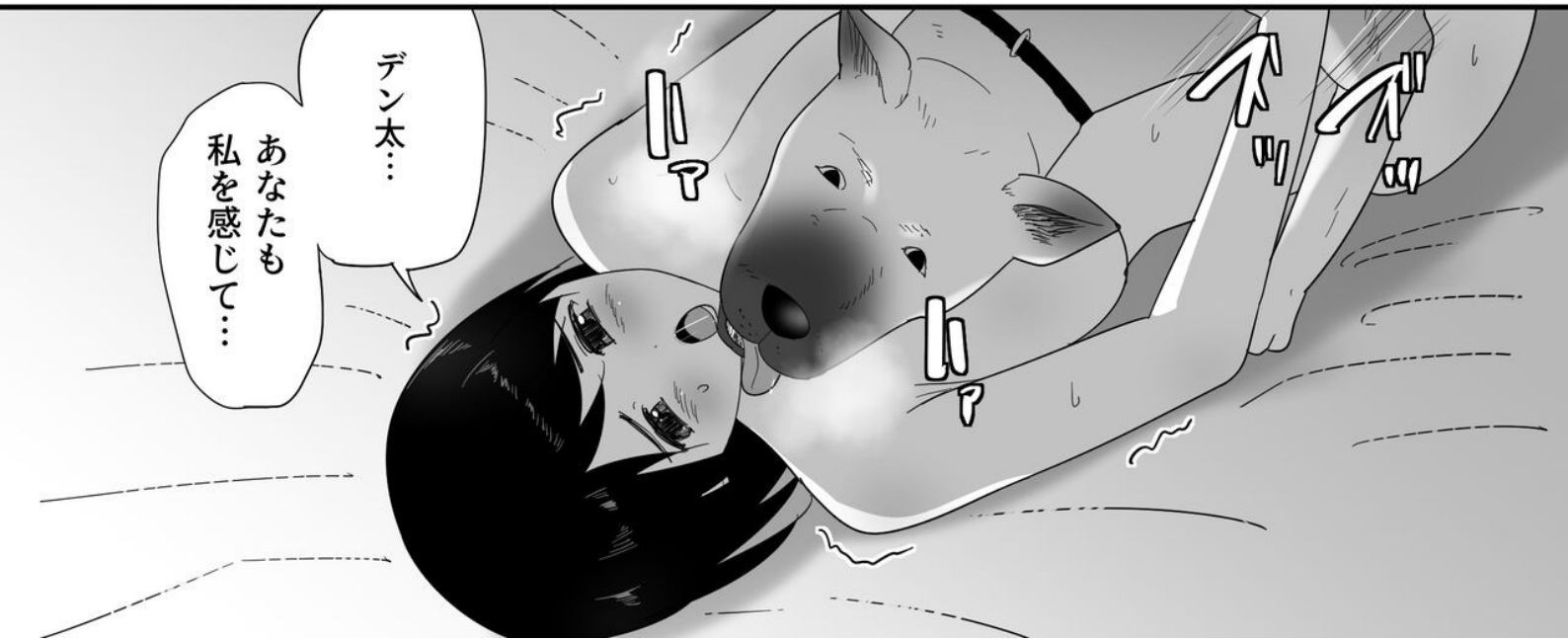
はあ

はぁ



肌でマンコで  
犬を感じる...

はぁ



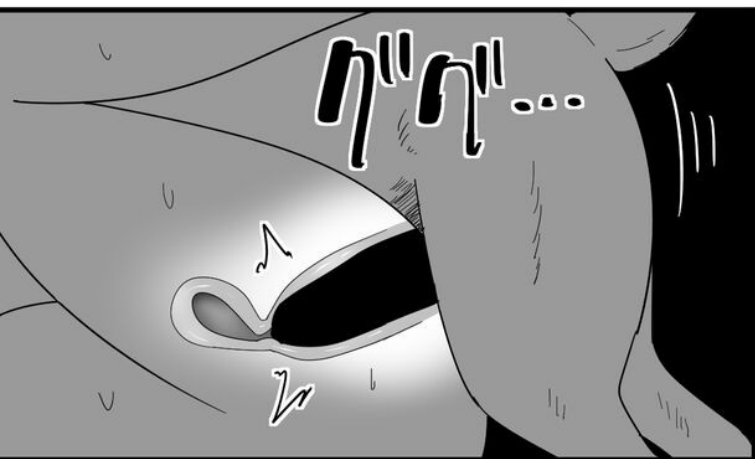
デン太...

あなたも  
私を感じて...

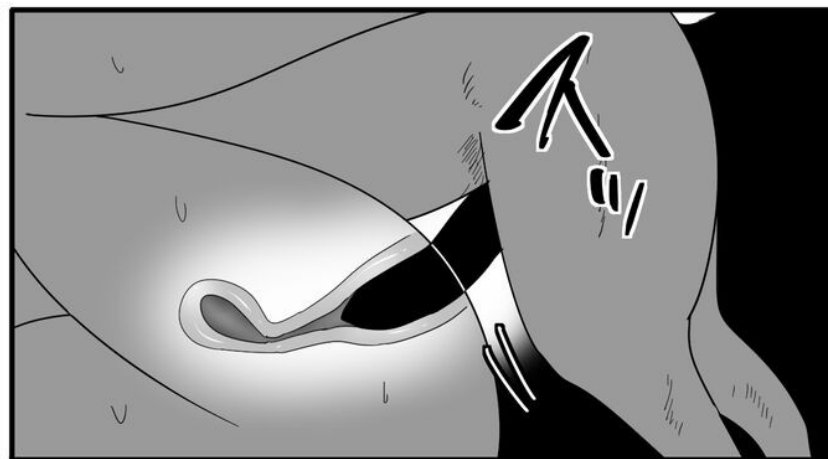


腰振りが  
激しくなってきた!!

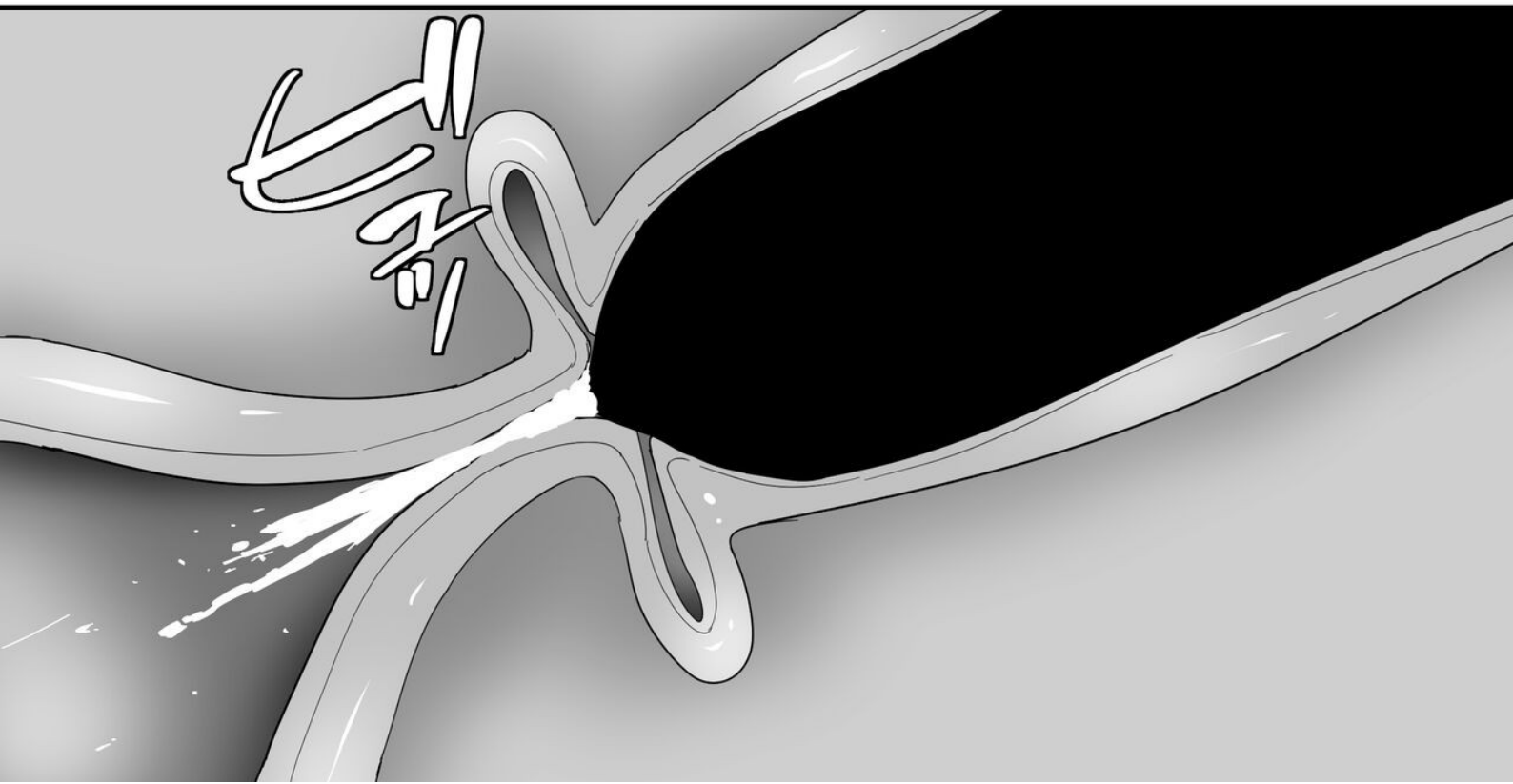
うっ  
うっ  
うっ



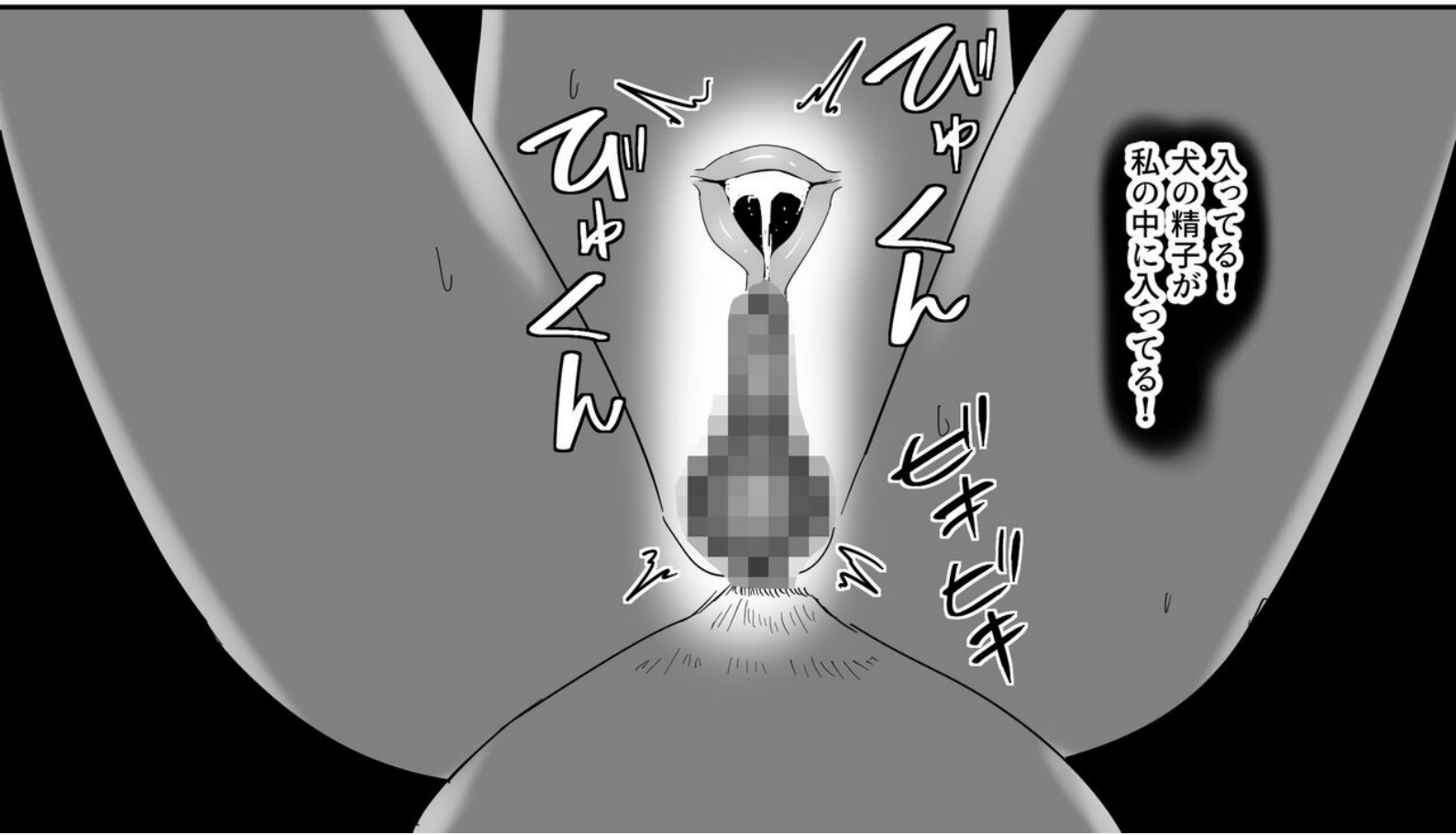
ハッ...  
ハッ

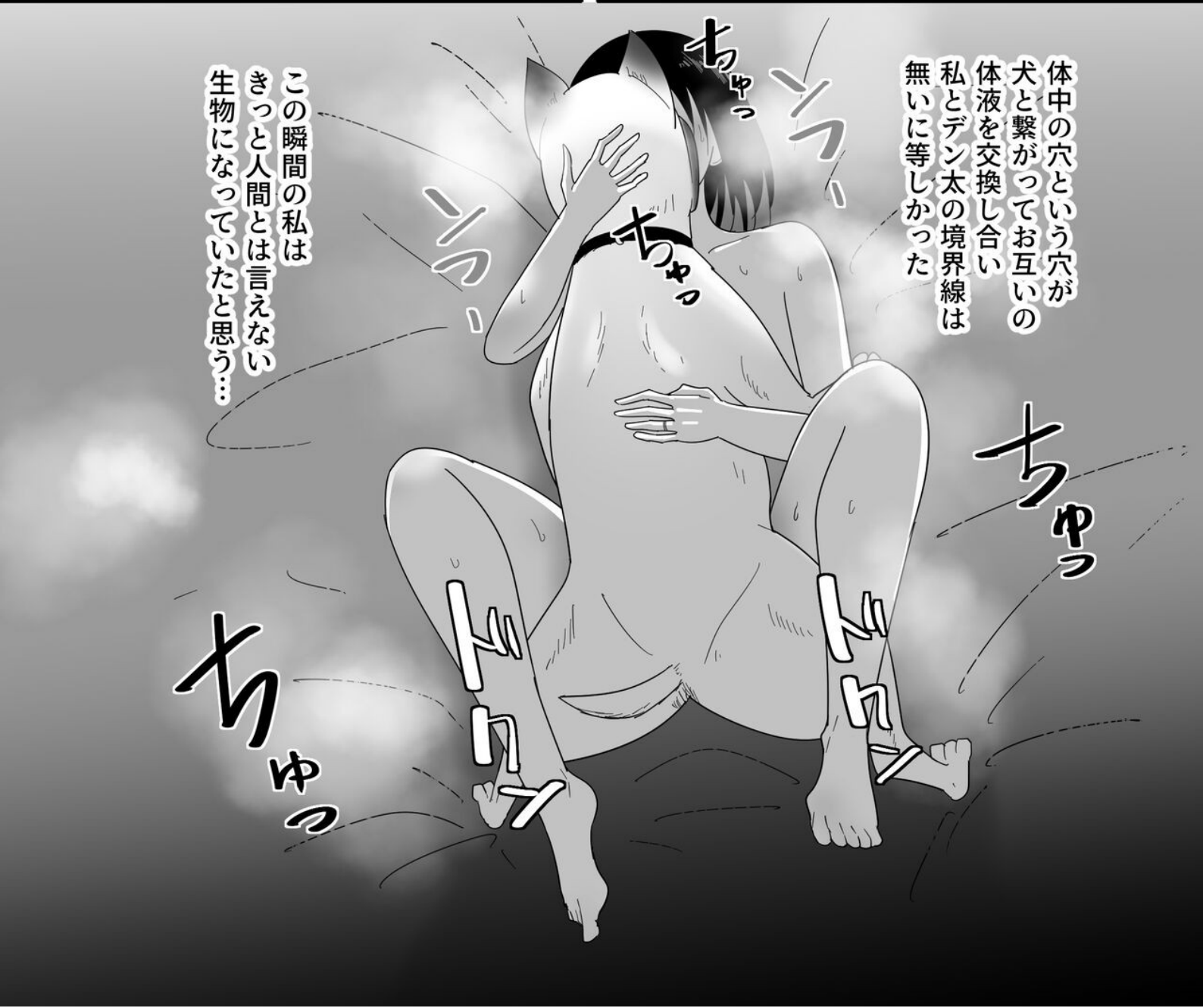
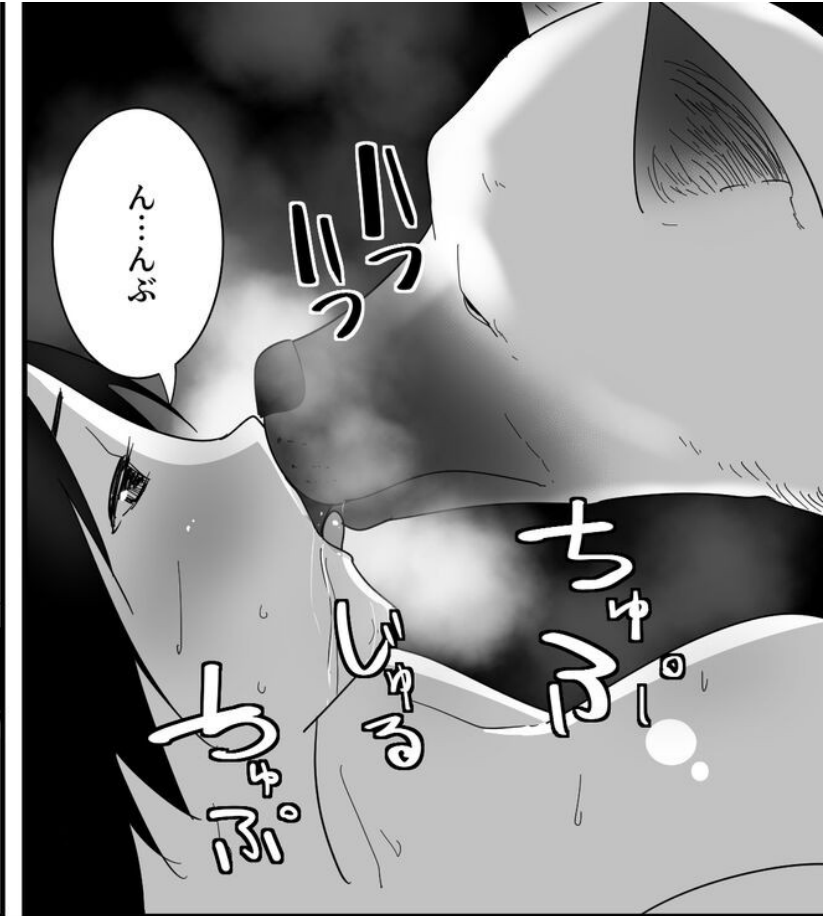


ハッ  
ハッ



ハッ  
ハッ

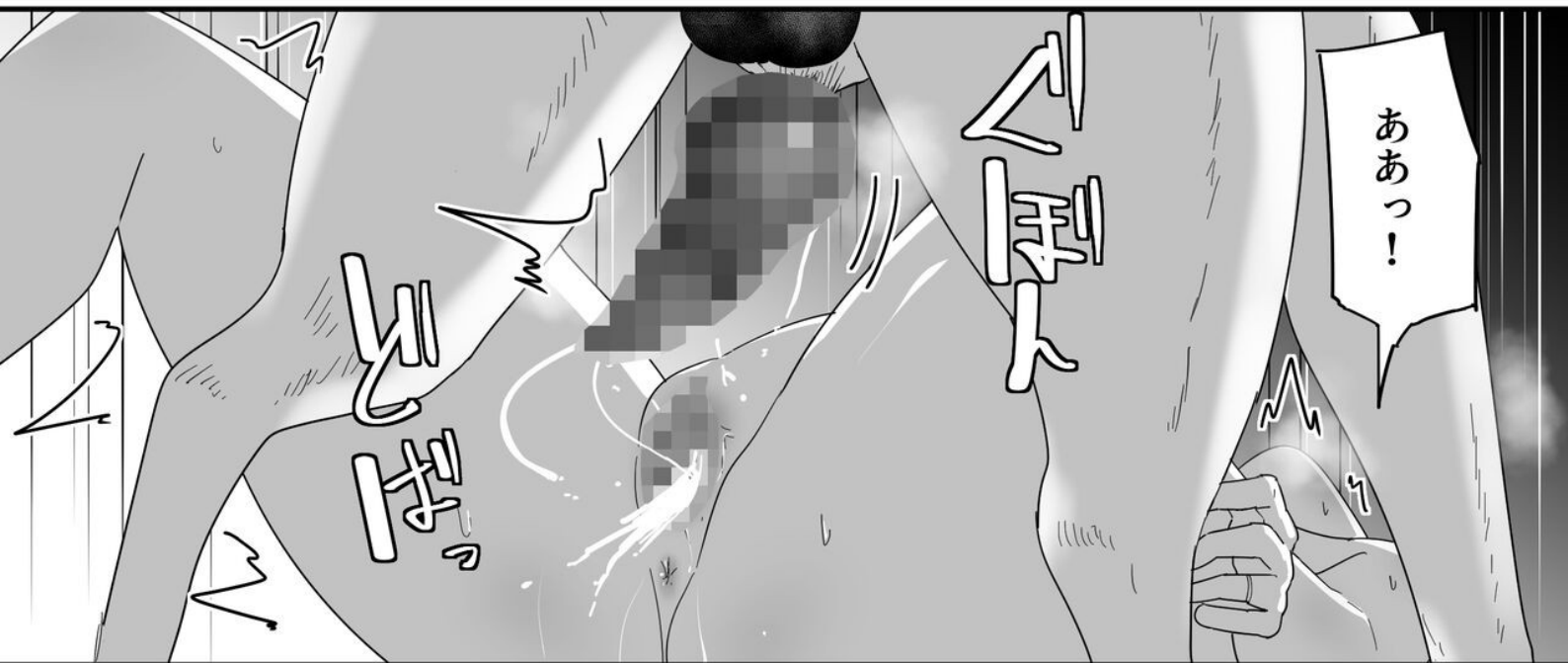
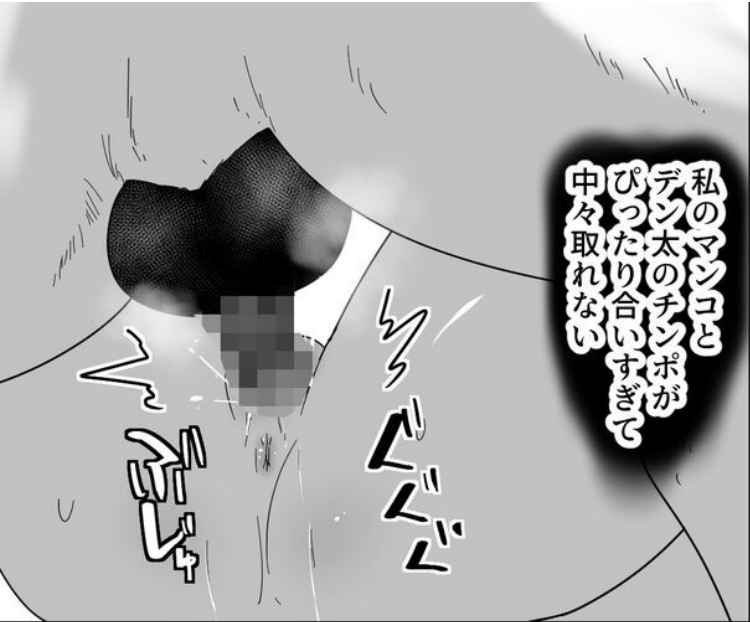




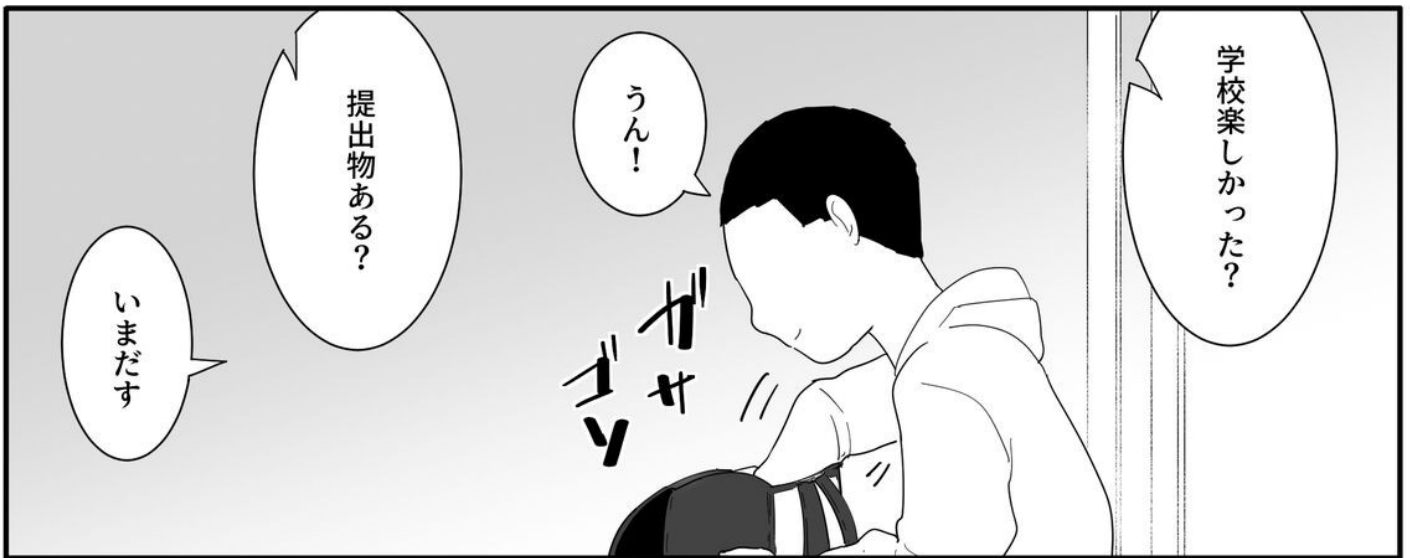
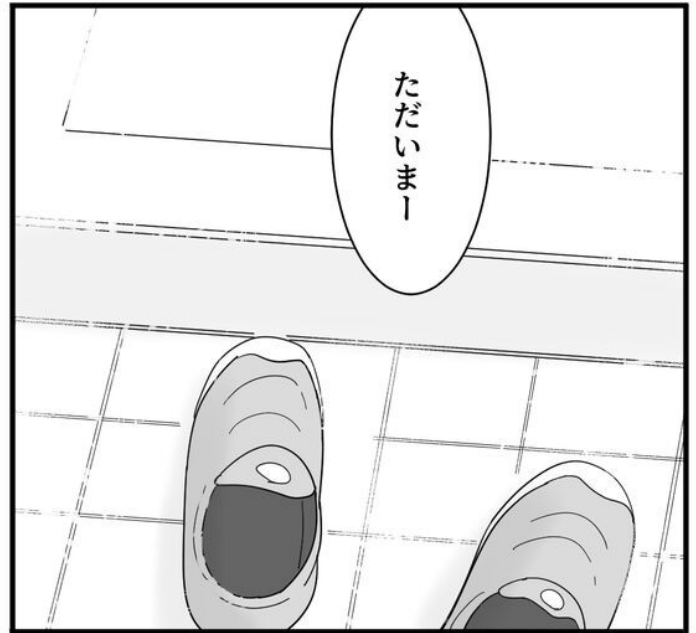
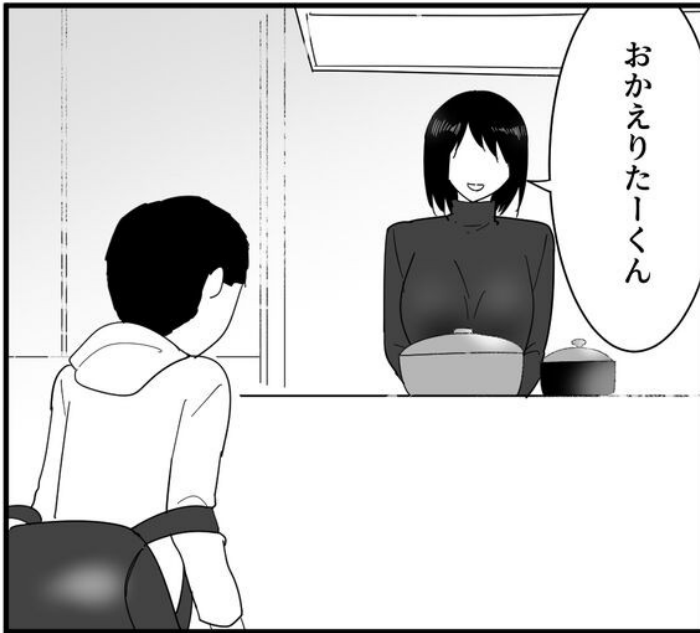
体中の穴という穴が  
犬と繋がってお互いの  
体液を交換し合い  
私とデン太の境界線は  
無いに等しかった

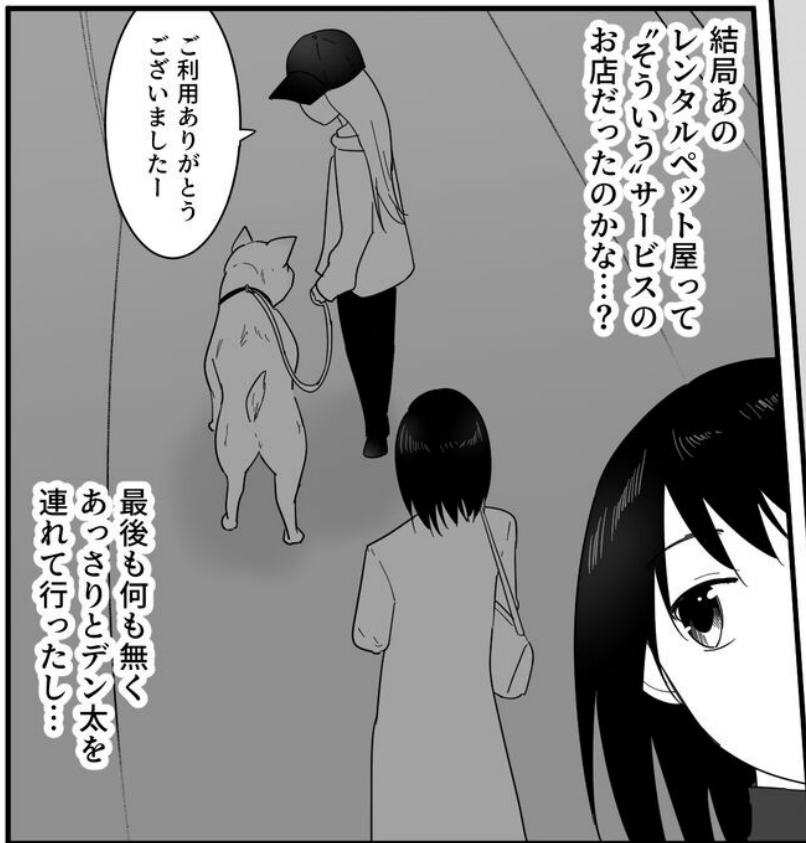
この瞬間の私は  
きつと人間とは言えない  
生物になっていたと思う...







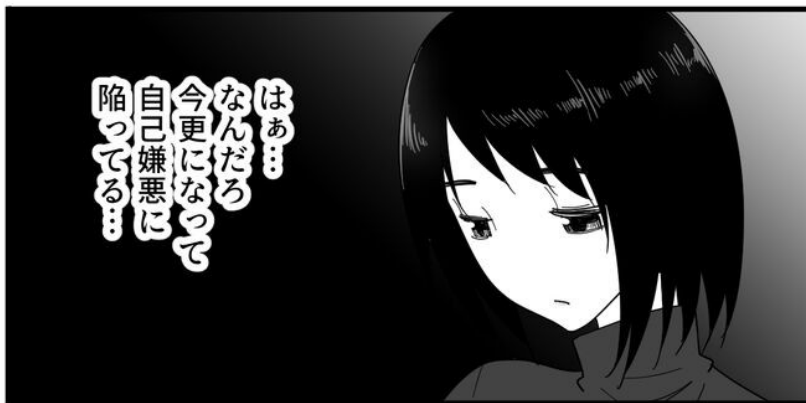




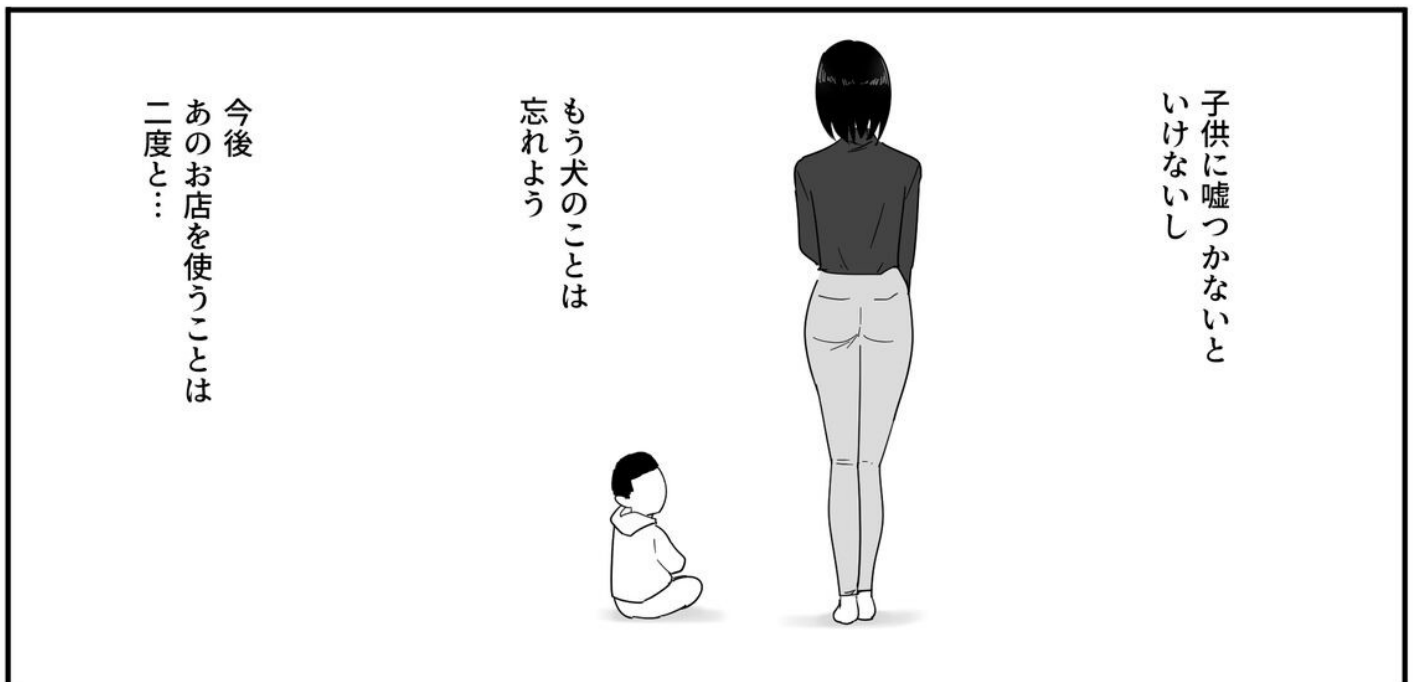
ご利用ありがとうございましたー

結局あの  
レンタルペット屋って  
「そういう」サービスの  
お店だったのかな…？

最後まで何も無く  
あっさりとしてん太を  
連れて行ったし…



はあ…  
なんだろ  
今更になつて  
自己嫌悪に  
陥ってる…



子供に嘘つかないと  
いけないし

もう犬のことは  
忘れよう

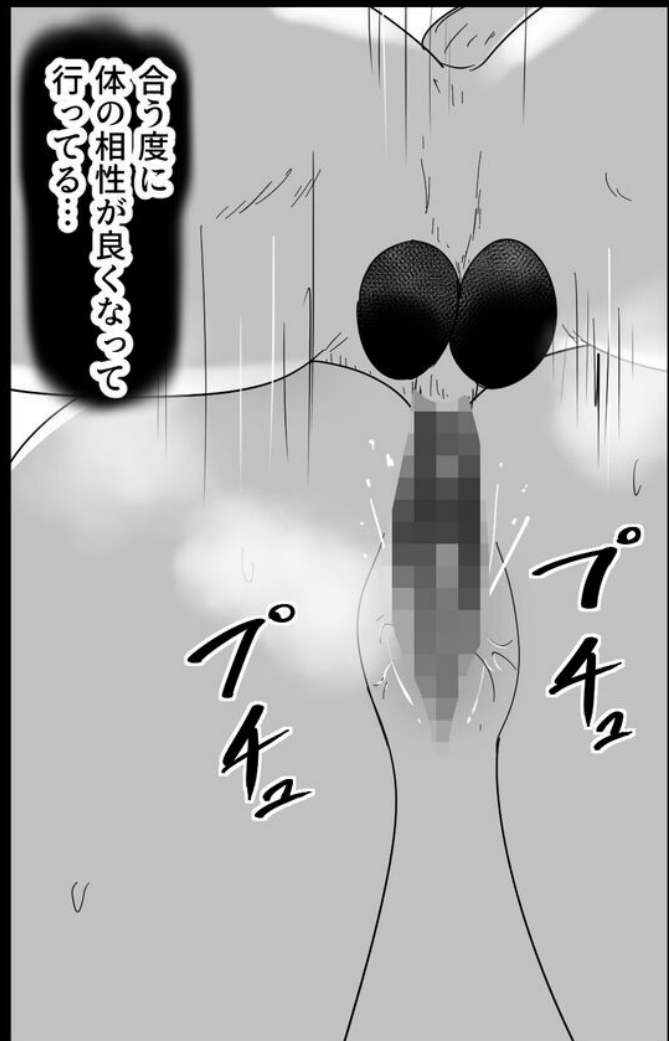
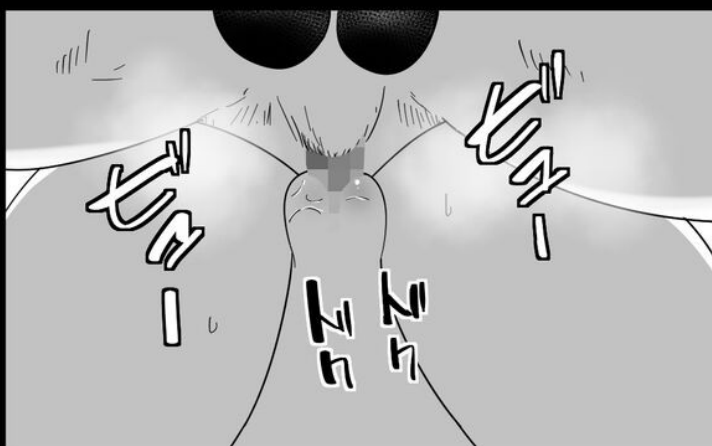
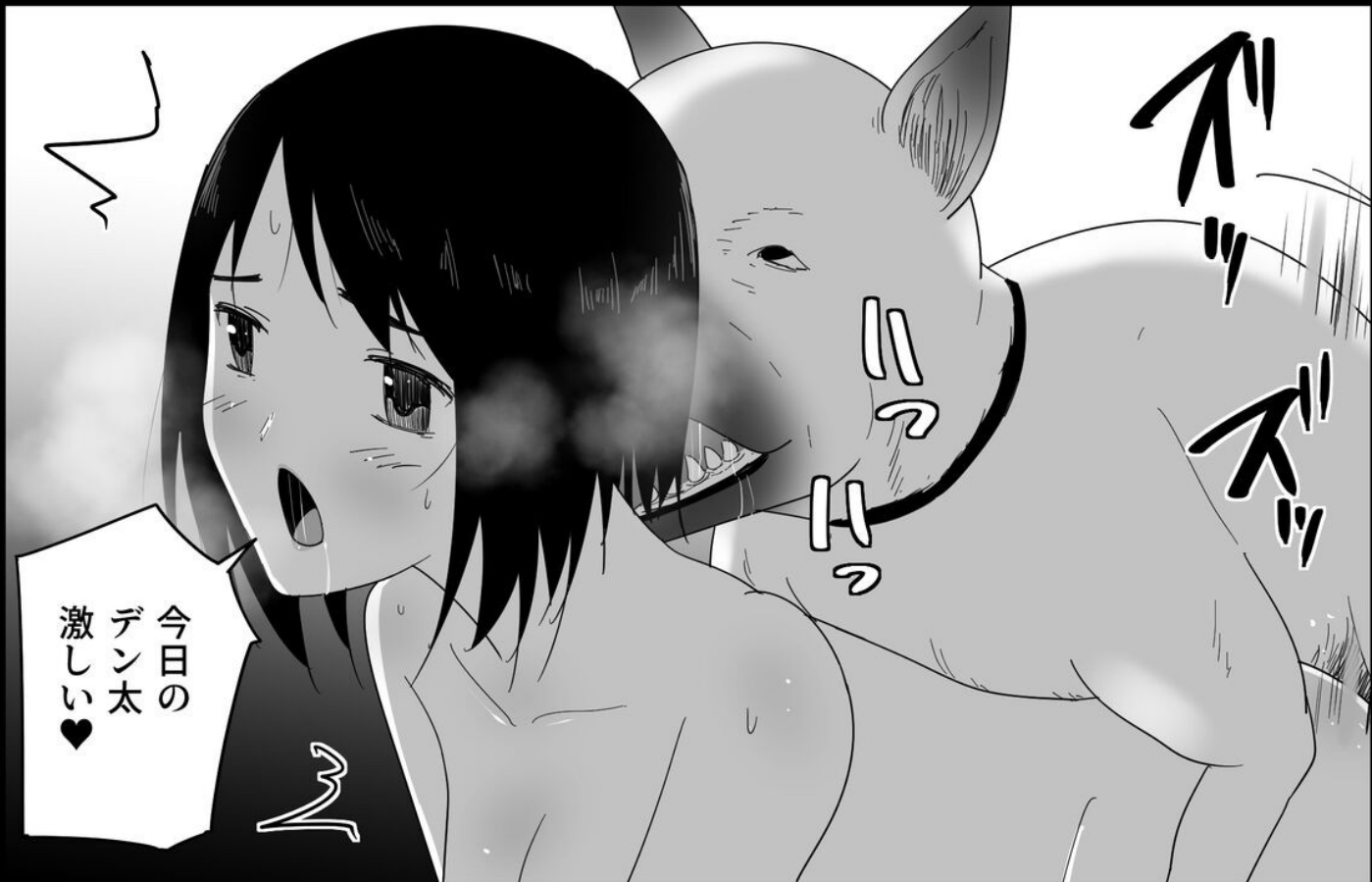
今後  
あのお店を使うことは  
二度と…

...と思っていたのに

おっ  
♥

おっ  
♥







これでデン太と  
会うのは何回目だろう...

会う度に  
もうこんなことやめようと  
思うのに気が付いたら  
予約入れちゃう...

きっと私は  
このままずっと  
この生活を  
続けていくんだろうなあ...

はあ  
犬チンポ  
おいひい

ちゅぽ...



発行 フレイア

@flare\_kemono